

# 第2次

# 平塚市食育推進計画

平成27年度～平成36年度  
(2015年度～2024年度)



平塚市



## はじめに

私たちが心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすために「食」は欠くことができないものです。その「食」に関する知識と「食」を選択する力を様々な経験を通じて習得し、健全な食生活を実践していくためにも「食育」はあらゆる世代にとって、とても大切なことです。

本市においては平成22年3月に「平塚市食育推進計画」を策定し、「みんなではぐくもう！ 食育のまち ひらつかの未来」を基本理念に、次世代を担う子どもたちが、食について楽しみ、感謝し、考える力を養うため、望ましい食への考え方や食文化等を伝えていく環境づくりを重点課題として5年間進めてまいりました。その結果、地域や学校、保育所、関係団体などが連携・協力した、食を育む環境が整いつつあります。

一方、本市も約4人に1人が65歳以上となり、更にその割合が高まることが予測される中で、高齢者への食育、さらには青年期・壮年期への食育も、健康づくりや生活習慣病を予防するうえで重要であると考えられます。

この度、次世代を担う子どもから高齢者まですべての世代で食育が推進できるよう、過去5年間の取組みの成果と課題を踏まえ、「第2次平塚市食育推進計画」を策定いたしました。今後、この計画に基づき、本市の地域性や歴史を活かした食育を進めるとともに、生涯におけるライフステージに応じた取組みを加え、市民の皆様や関係団体の皆様と連携しながら、市民自らが食育のまち、そして平塚の未来を育んでいくことを目指してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、御審議をいただきました「平塚市食育推進会議」をはじめ、多くの市民の皆様や関係者の方々から貴重な御意見をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

平成27年3月

平塚市長 落合 克宏

## 第2次平塚市食育推進計画 目次

第1章	第2次平塚市食育推進計画の策定にあたって	1
1	計画策定の趣旨	2
2	計画の位置づけ	3
3	計画の期間	3
第2章	平塚市の食生活を取り巻く環境	5
1	平塚市の現状と課題	6
第3章	第1次計画の成果と課題	25
1	成果と課題	26
第4章	平塚市が目指す食育の方向	31
1	基本理念	32
2	基本方針	32
3	計画の体系	34
4	具体的な取組みと計画指標	35
第5章	ライフステージごとのテーマと取組み	55
第6章	推進体制の整備	57
参考資料		59
	平塚市食育推進会議条例	60
	平塚市食育推進会議委員名簿	62
	平塚市食育推進計画進行会議	63
	第2次平塚市食育推進計画策定の経過	63
	平成26年度平塚市食育推進のための実態調査	64

# 第1章

## 第2次平塚市食育推進計画の策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の期間

# 第1章 第2次平塚市食育推進計画の策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

本市では、平成17年7月に施行された「食育基本法」及び平成18年3月に策定された「食育推進基本計画」を基本として、市民一人一人が実践できる食育のまちづくりを目標とした「平塚市食育推進計画」を平成22年3月に策定し、「みんなではぐくもう！食育のまち ひらつかの未来」を基本理念に食育の普及を推進してきました。

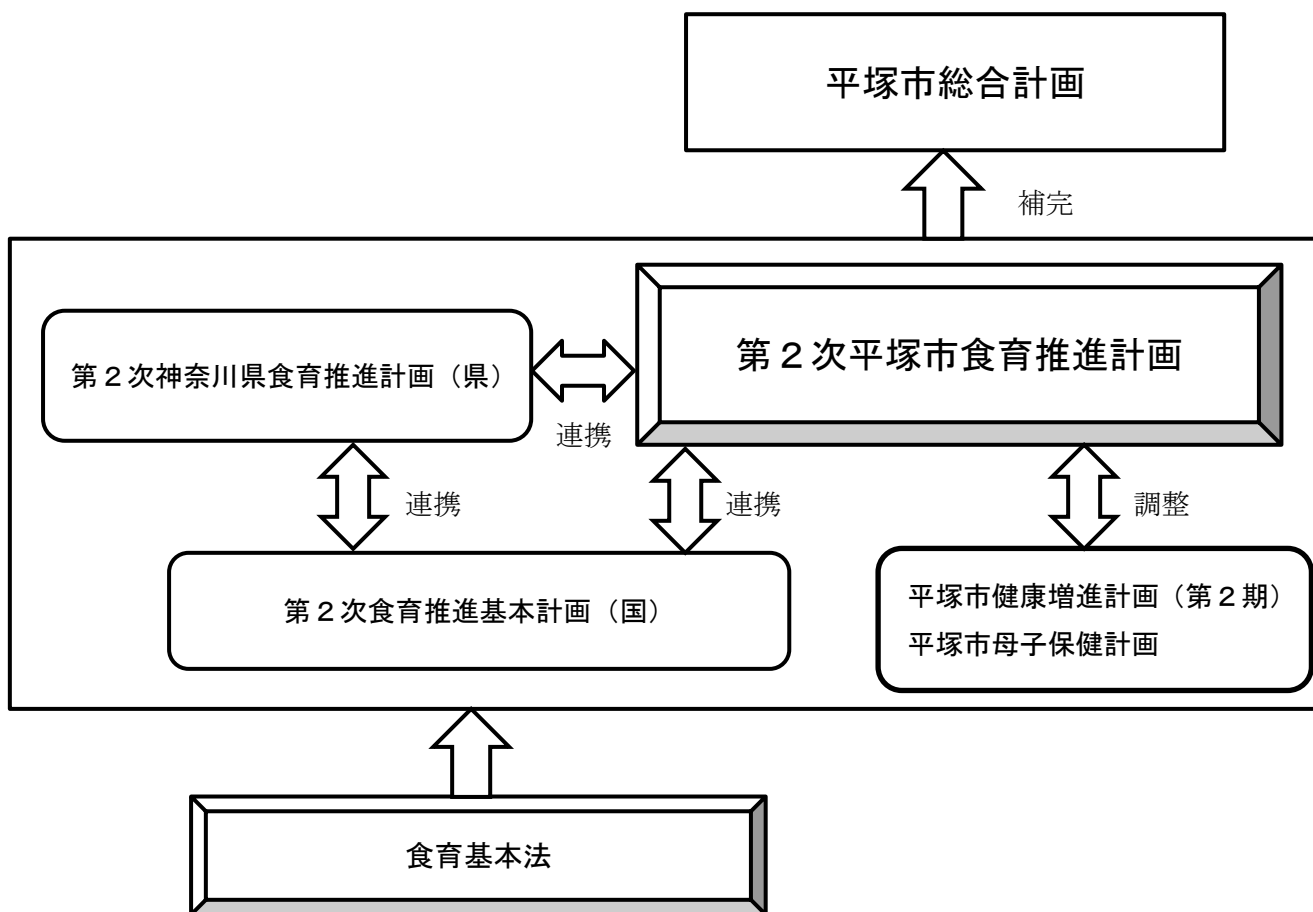
その結果、平成26年5月に実施した「平塚市食育推進のための実態調査」から「早寝早起き朝ごはん」を実践している乳幼児の割合は増加し、子どもの規則正しい生活習慣が定着してきました。また、食に関する体験活動の場として、学校や公民館などの事業の体制が整いました。

一方、依然として野菜摂取量の不足や、食育に関心を持っている人の割合が減少するなど、食育推進の効果が見られない状況も伺えます。

これらの状況や、第2次食育推進基本計画、第2次神奈川県食育推進計画を踏まえ、市民一人一人が実践し、推進できるよう、「第2次平塚市食育推進計画」を策定します。

## 2 計画の位置づけ

- (1) 本計画は、「食育基本法」の目的・基本理念をふまえ、同法第18条第1項に定める市町村食育推進計画として位置づけます。
- (2) 平塚市総合計画を補完する個別計画として位置づけます。

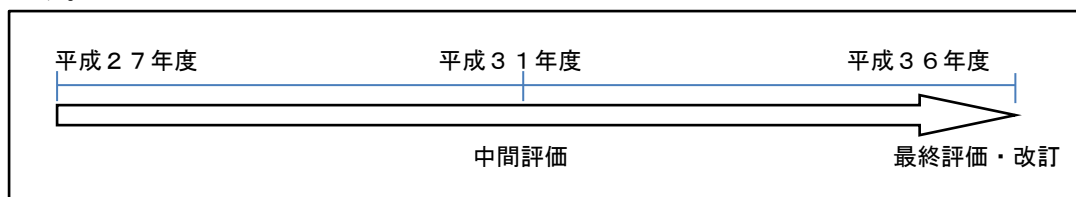


## 3 計画の期間

平成27年度から平成36年度の10年を計画期間とします。

5年を目途に中間評価を実施します。

社会情勢等の変化が生じた場合は、必要性に応じて計画期間内であっても見直すこととします。





## 第2章

### 平塚市の食生活を取り巻く環境

#### 1 平塚市の現状と課題

## 第2章 平塚市の食生活を取り巻く環境

### 1 平塚市の現状と課題

平塚市食育推進計画策定後、5年目の平成26年度に計画改訂を行うにあたり、本市の食育に関する意識や現状を把握するためのアンケートを行いました。

調査期間は平成26年5月2日～平成26年5月30日、調査対象は住民基本台帳に登録された0歳～74歳までの男女3,000人、有効回答率は41.2%となりました。

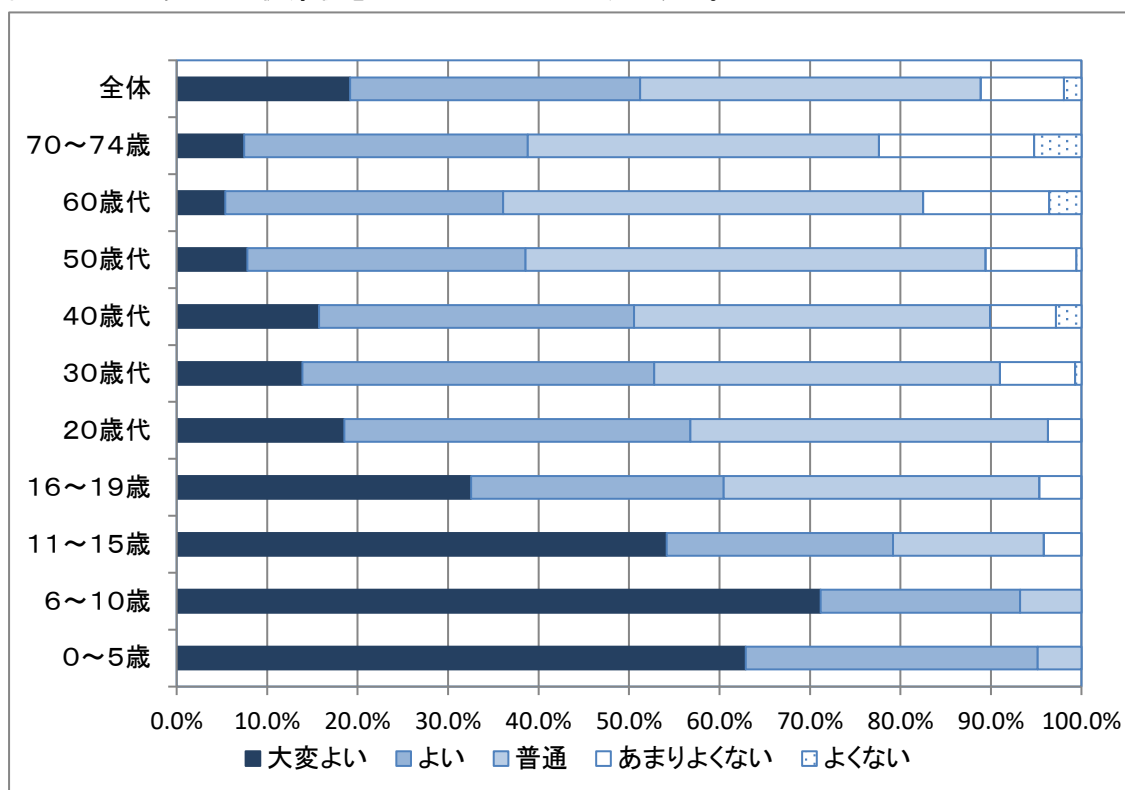
調査結果から、次のような現状や課題が見いだされました。

#### (1) 食生活と健康

##### ア 健康について

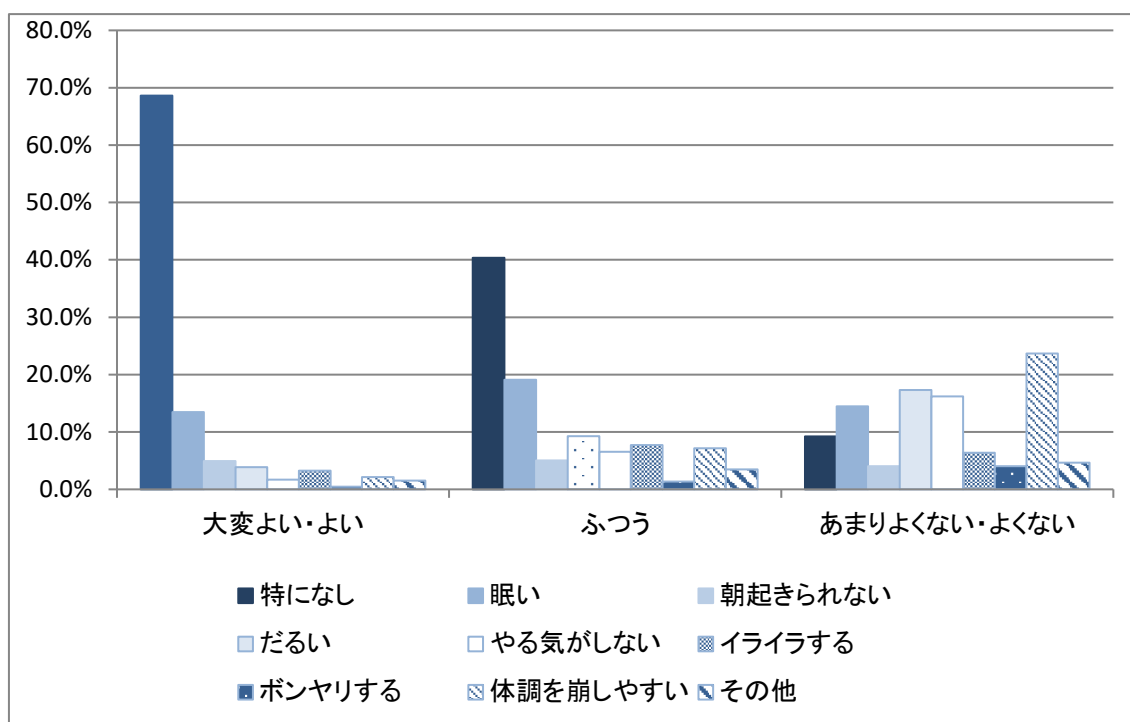
自分自身の健康状態について「大変よい」「よい」と思う人は約半数で「あまりよくない」「よくない」と思う人は全体の1割程度です。

図2-1 あなたの健康状態はどれに当てはまりますか。



年齢別に見ると、50歳代以上になると、「大変よい」「よい」と回答した人の割合は40%以下になり、60歳代以上になると「あまりよくない」「よくない」と回答した人の割合が他の年齢に比べると高くなっています。

図 2-2 あなたは日頃、主に感じることはありますか。



(複数による回答)

健康状態を「大変よい・よい」「ふつう」「あまりよくない・よくない」と回答した人ごとに、日頃主に感じる事について確認しました。

「大変よい・よい」と回答した人ほど特に不調を感じていない割合が高く、「あまりよくない・よくない」と回答した人では、「眠い」「やる気がしない」「体調を崩しやすい」といった不調を感じる割合が高くなっています。

### イ 体型の現状について

自己申告による身長・体重から BMI\*を算出すると、10歳代のやせが多く、年齢と共にやせの割合は減少しています。一方、20歳代を超えると、肥満の割合が増加しています。

図2-3 あなたの身長、体重を教えてください。(BMIに換算)

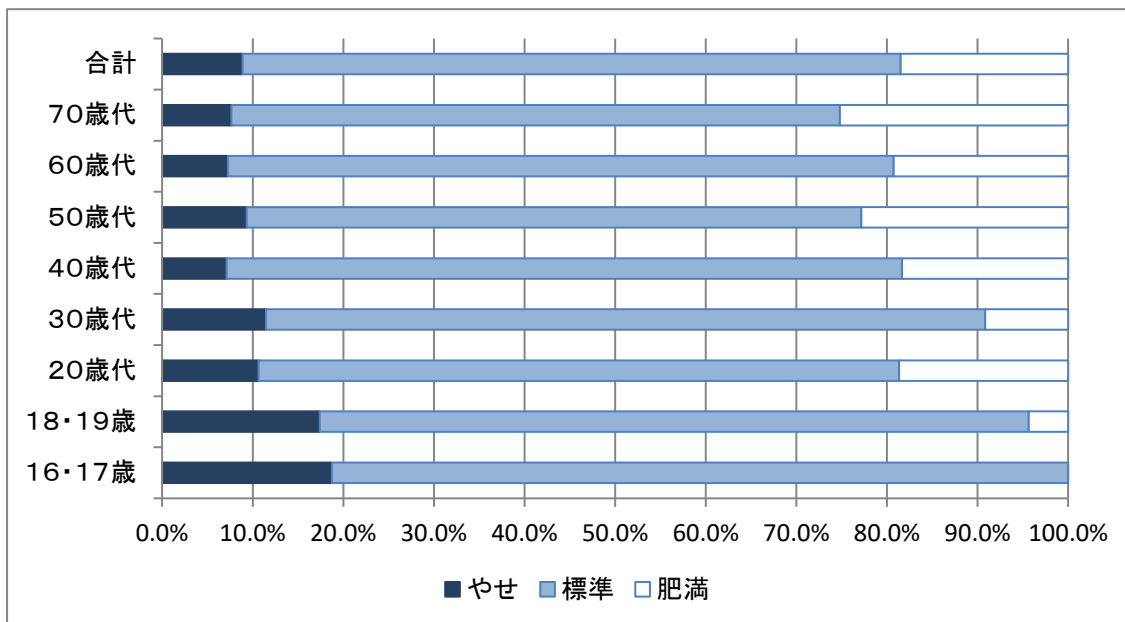
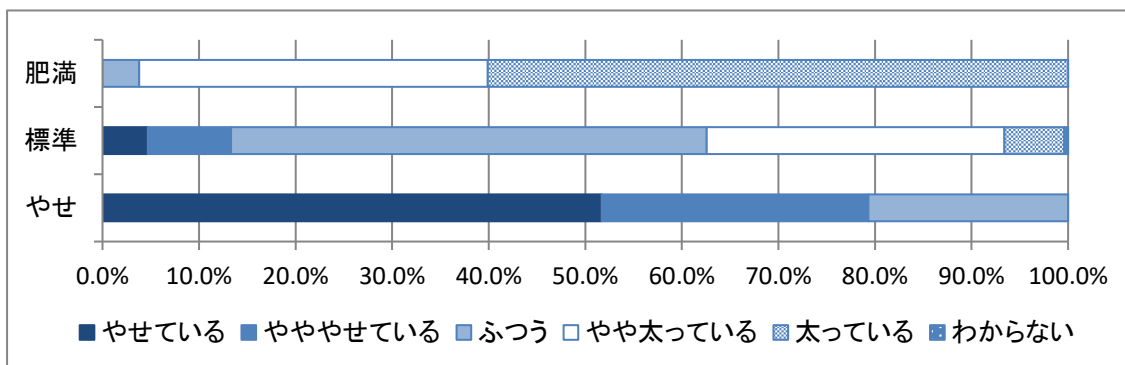


図2-4 BMI別の個人の主観的体型



BMIにより、「やせ」と判断される人でも2割以上の方が自分の体型を「ふつう」と感じています。また、同様に「標準」と判断される人でも4割弱の人が「やや太っている」「太っている」と感じています。

#### BMI (肥満指数) とは

身長と体重から計算される値。統計的にもっとも病気にかかりにくい BMI 22 を標準とし、BMI 18.5 未満をやせ、BMI 25 以上を肥満としています。

ウ 朝食の摂取状況について

朝食を「ほとんど毎日食べる」と回答した人は全体の約86%で、前計画策定時から比べると約3ポイント増加しています（図2-5、2-6）。特に、乳幼児の割合は前計画策定時に比べ約9ポイント増加し（図2-7）、乳幼児期からの「早寝早起き朝ごはん」の普及が伺えます。一方、「ほとんど毎日食べる」と回答する割合が減る20歳代、30歳代は、性別における差が大きく、男性の朝食を欠食する割合が多くなります（図2-9）。

図2-5 朝食を食べる頻度はどのくらいですか。

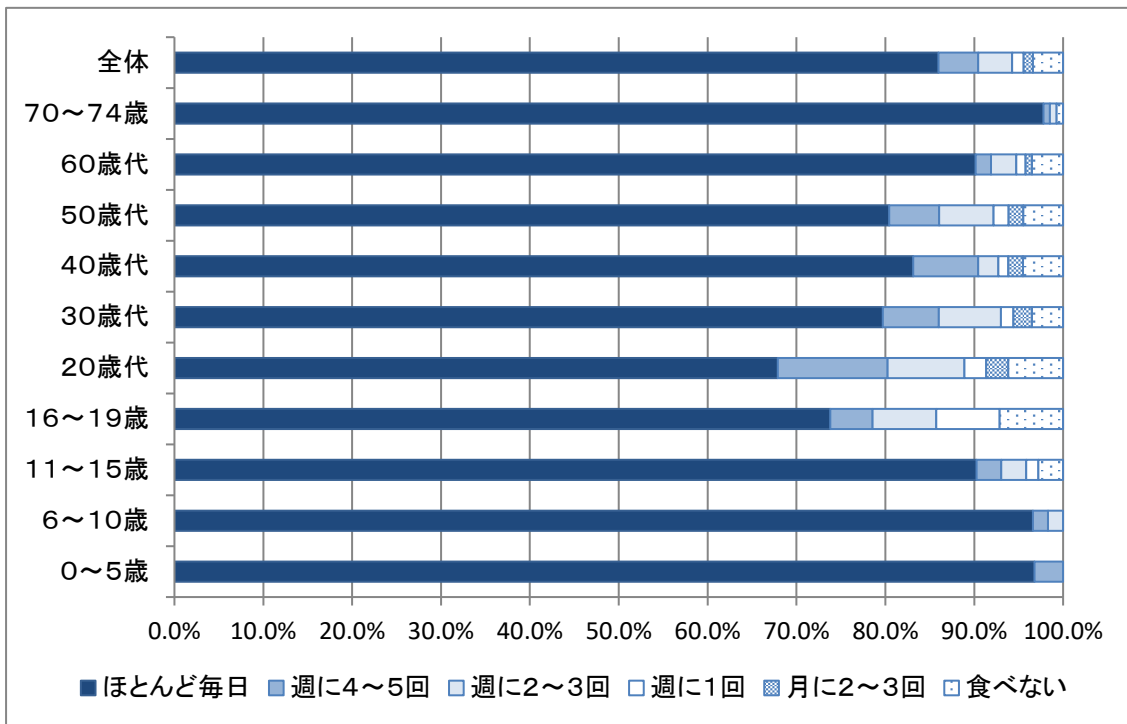


図2-6 朝食を食べる頻度はどのくらいですか。(全体)

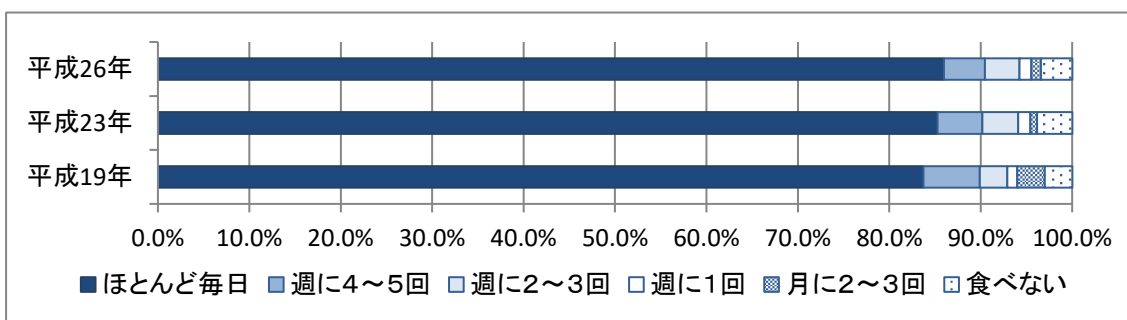


図2-7 朝食を食べる頻度はどのくらいですか。(0~5歳)

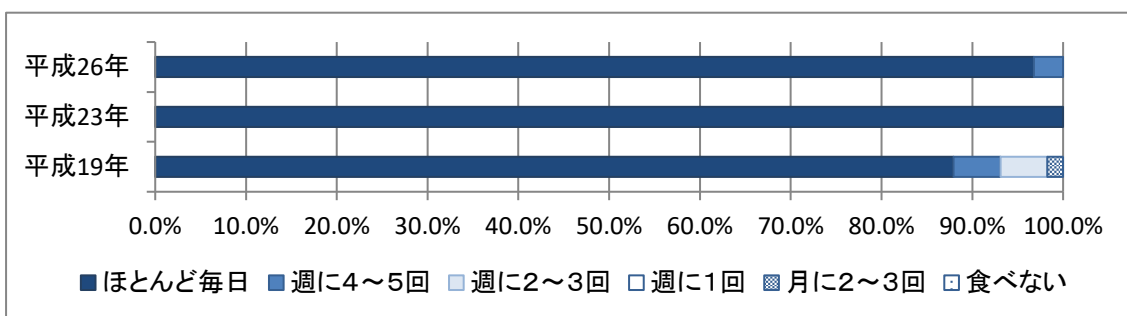


図2-8 朝食を食べる頻度はどのくらいですか。(11~19歳)

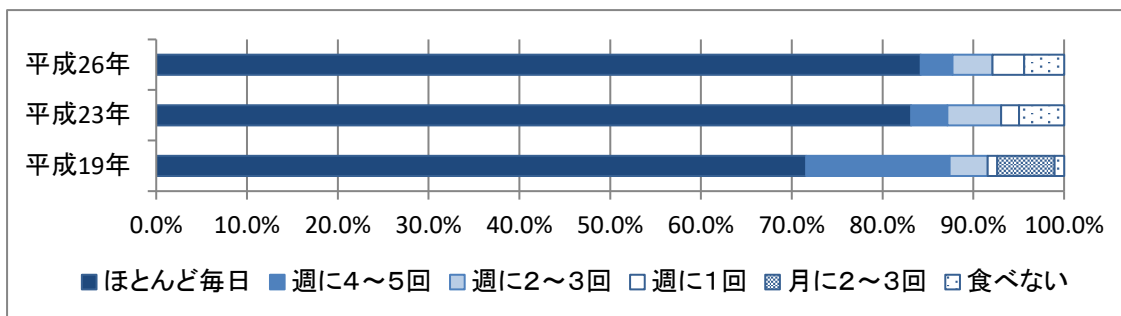
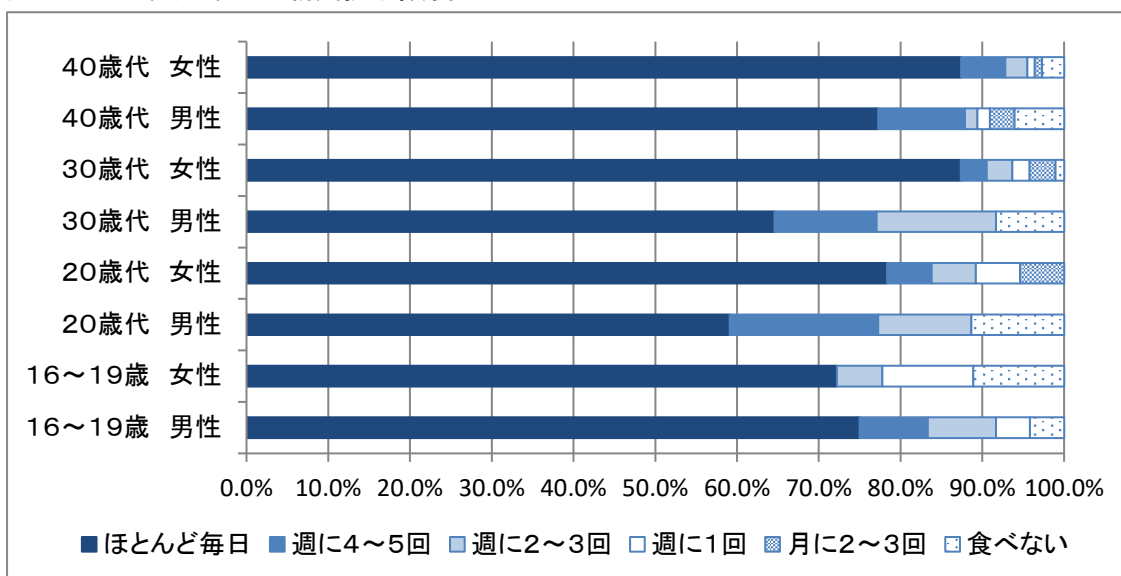
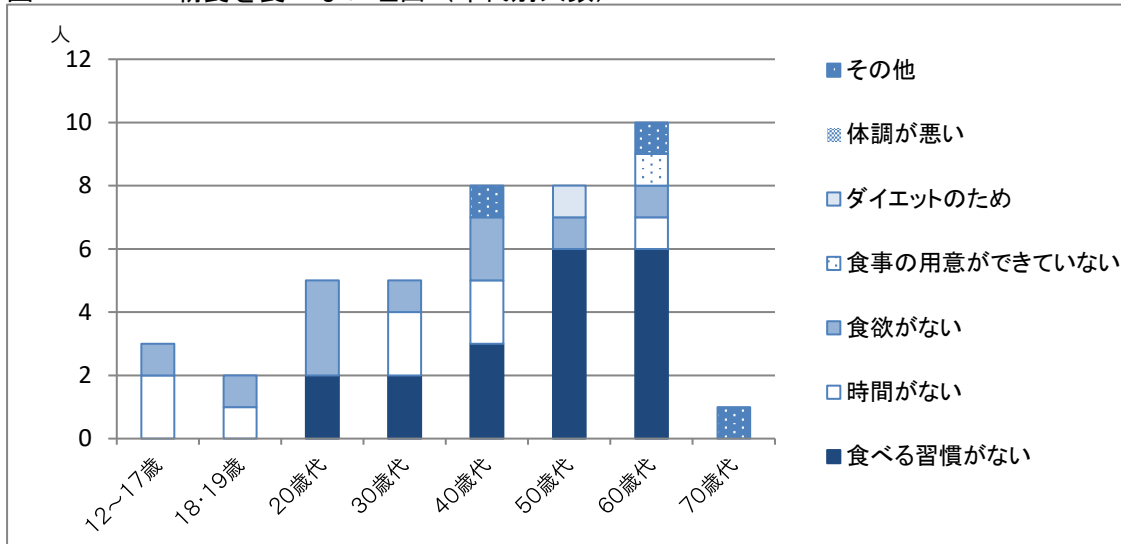


図2-9 性別年代別朝食摂取頻度



一方、朝食を欠食し始める年齢は思春期以降と、前計画策定時と比べて変化はありません。欠食する理由は、思春期では「時間がない」「食欲がない」、20歳代以上では「食べる習慣がない」となり、「時間」や「食欲」がないことで始まった朝食欠食が、年齢と共に「食べる習慣がない」へつながる傾向が見られます(図2-10)。

図2-10 朝食を食べない理由(年代別人数)

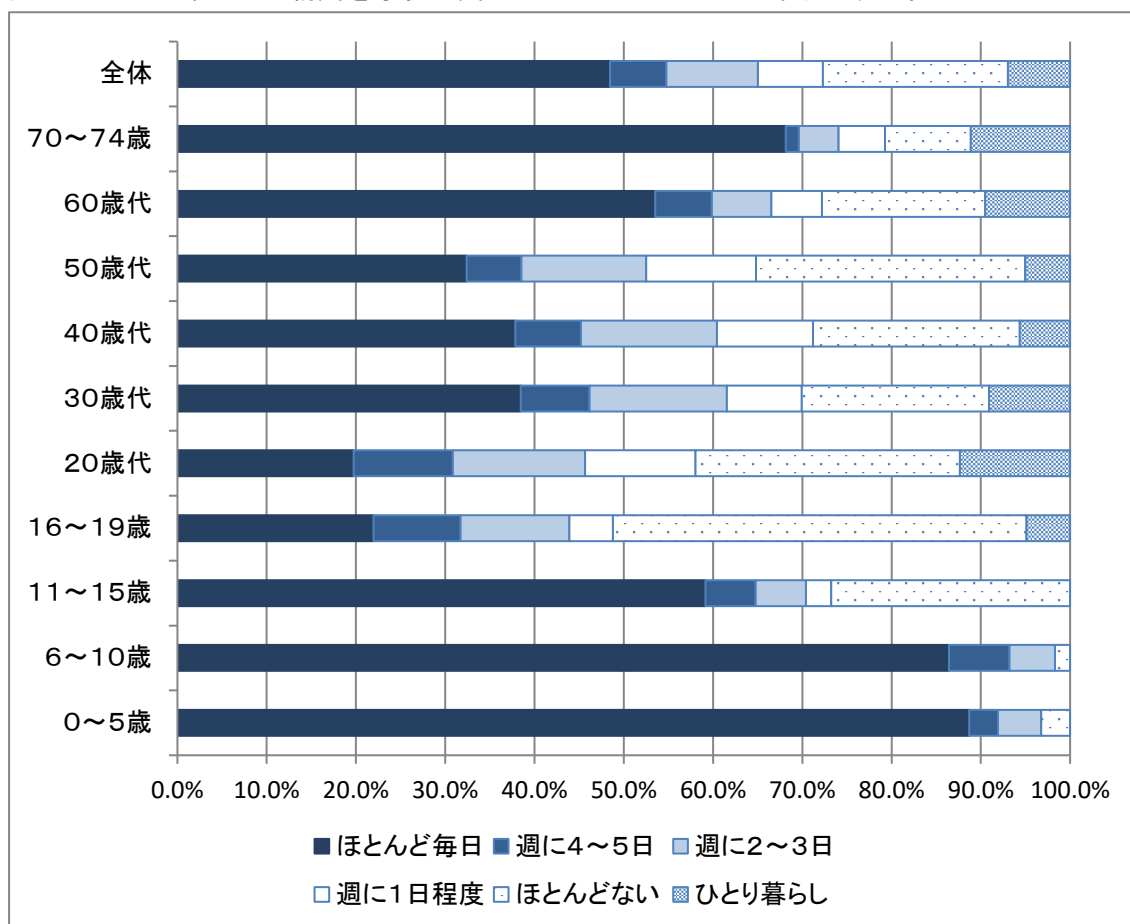


## エ 共食について

ライフスタイルや家族間の関わり合いは多様化しており、家族そろって食卓を囲む機会が減少しています。また、一人で食事をすることも少なくありません。

しかし、家族が食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図ることは、食育の原点であり、子どもへの食育を推進していく大切な時間と場であることから、「第2次平塚市食育推進計画」では、基本方針の一つとして「家庭ではじめる共食を通じた子どもたちへの食育の推進」を位置づけました。

図2-11 あなたは朝食を家族と食べることはどのくらいありますか。



朝食を「家族と一緒に食事をする」回数は、乳幼児から学童期にかけては80%以上の人が「ほとんど毎日」となりましたが、思春期以降になると半数以下に減少しています（図2-11）。

夕食を「家族と一緒に食事をする」回数は、乳幼児から学童期にかけては90%以上の人が「ほとんど毎日」、また、20歳代を除いたすべての年代で50%以上が「ほとんど毎日」となりました（図2-12）。

また、神奈川県と同様の調査と比べると、全体的に大きな差は見られませんでした（図2-13）。

図2-12 あなたは夕食を家族と食べることはどのくらいありますか。

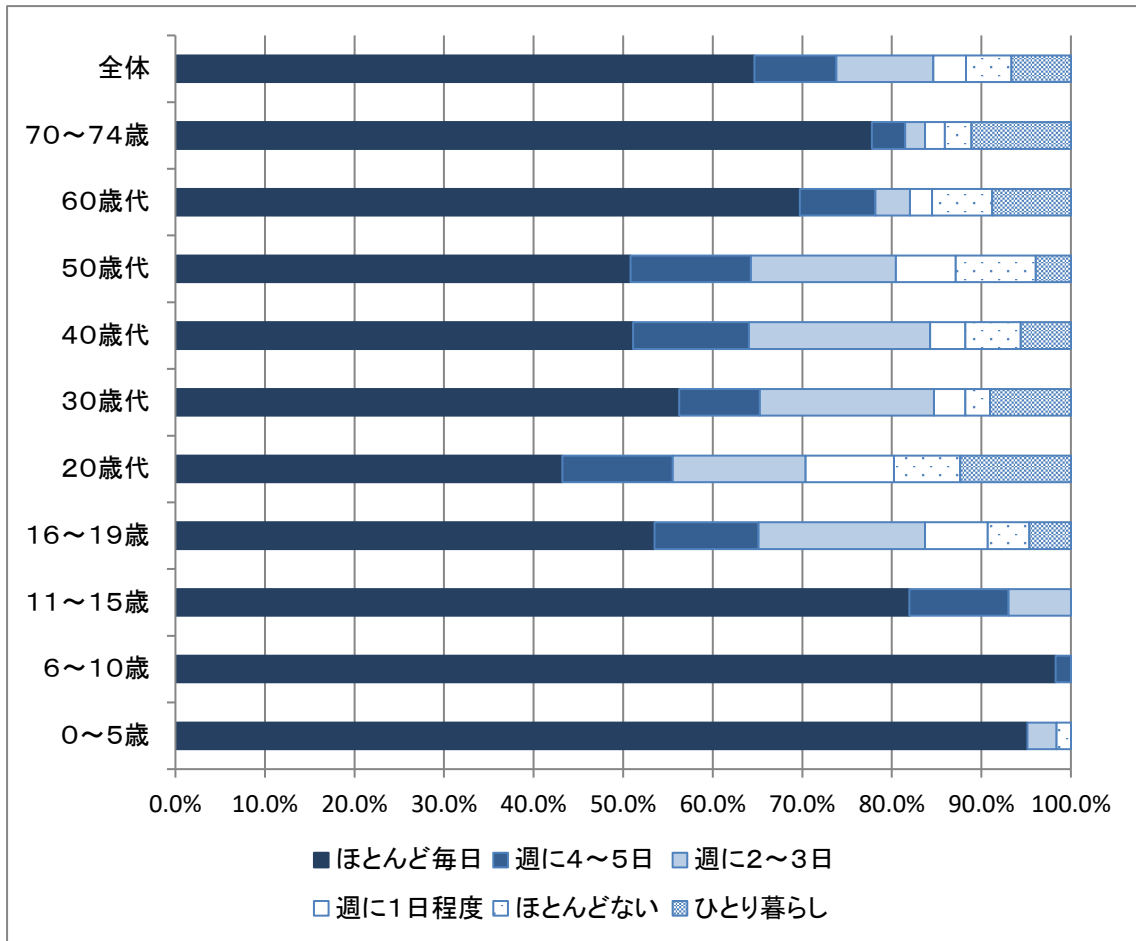
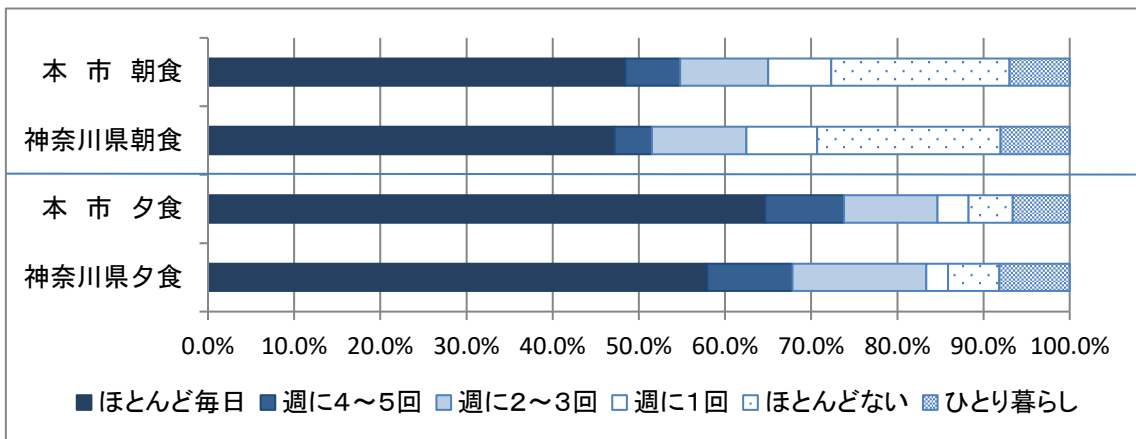


図2-13 朝食及び夕食の共食頻度比較



出典：神奈川県「県民ニーズ調査」(平成24年)

**共食とは**

「誰かと食事を共にする(共有する)こと」と定義し、家族が食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図る、大切な時間と場であると考えられています。

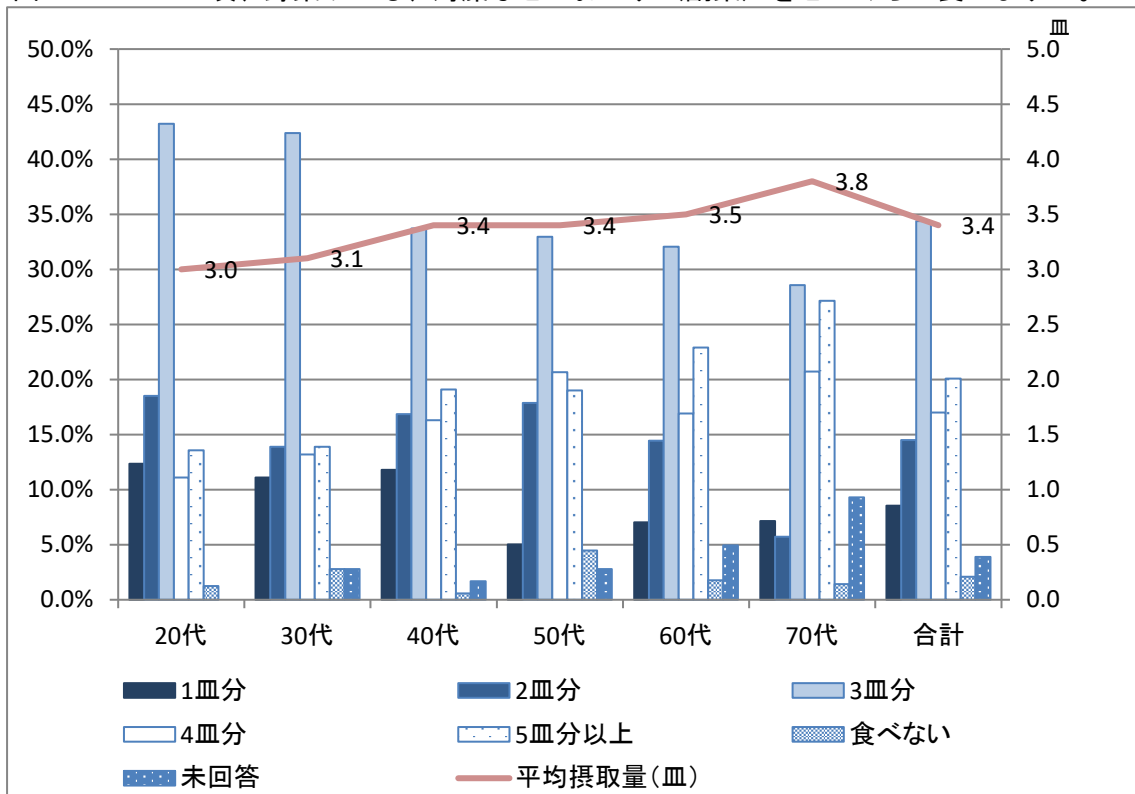
### オ 野菜摂取量について

野菜は、ビタミン、ミネラルなどの重要な供給源であり、健康な食生活を送る上で重要な位置づけとなっています。

厚生労働省が推進する「健康日本21（第2次）」では、健康増進の観点から成人が1日350g以上の野菜を食べることを目標にしています。

本市においても、「平塚市食育推進計画」「平塚市健康増進計画」で野菜1日350g以上食べる人を増やす取組みを推進してきましたが、どの年代においてもその量に達していない状況です（図2-14）。

図2-14 日頃、野菜やいも、海藻などのおかず（副菜）をどのくらい食べますか。



#### 野菜1日350g以上食べるためには

「1日350g」と言われても実際どれくらい摂取したら良いのかわかりづらいのが現状です。そこで野菜70g相当の量（ほうれん草のおひたしや野菜サラダのような小皿や小鉢に盛られた量）を1皿分、野菜炒めのように大きめの皿に盛られた野菜料理は1皿で2皿分と換算し、「1日5皿分以上（70g×5＝350g）」に置き換えると分かりやすくなります。

例えば、1日3食で写真のようにそろえた場合、「野菜炒め（2皿分）」＋「ほうれん草のおひたし（1皿分）」＋「野菜サラダ（1皿分）」＋「きんぴらごぼう（1皿分）」＝合計5皿分と数えられます。

【1日分の野菜 350g(例)】



### カ 食育に関する関心度について

食育に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した人は全体の約67%となり、特に20歳代までの若い世代での関心度が低い傾向が見られます(図2-15)。

また、前計画策定時及び計画中間年に実施した調査と比較しても、「食育」に対する関心度は高まっていない現状です(図2-16)。

図2-15 「食育」について関心がありますか。

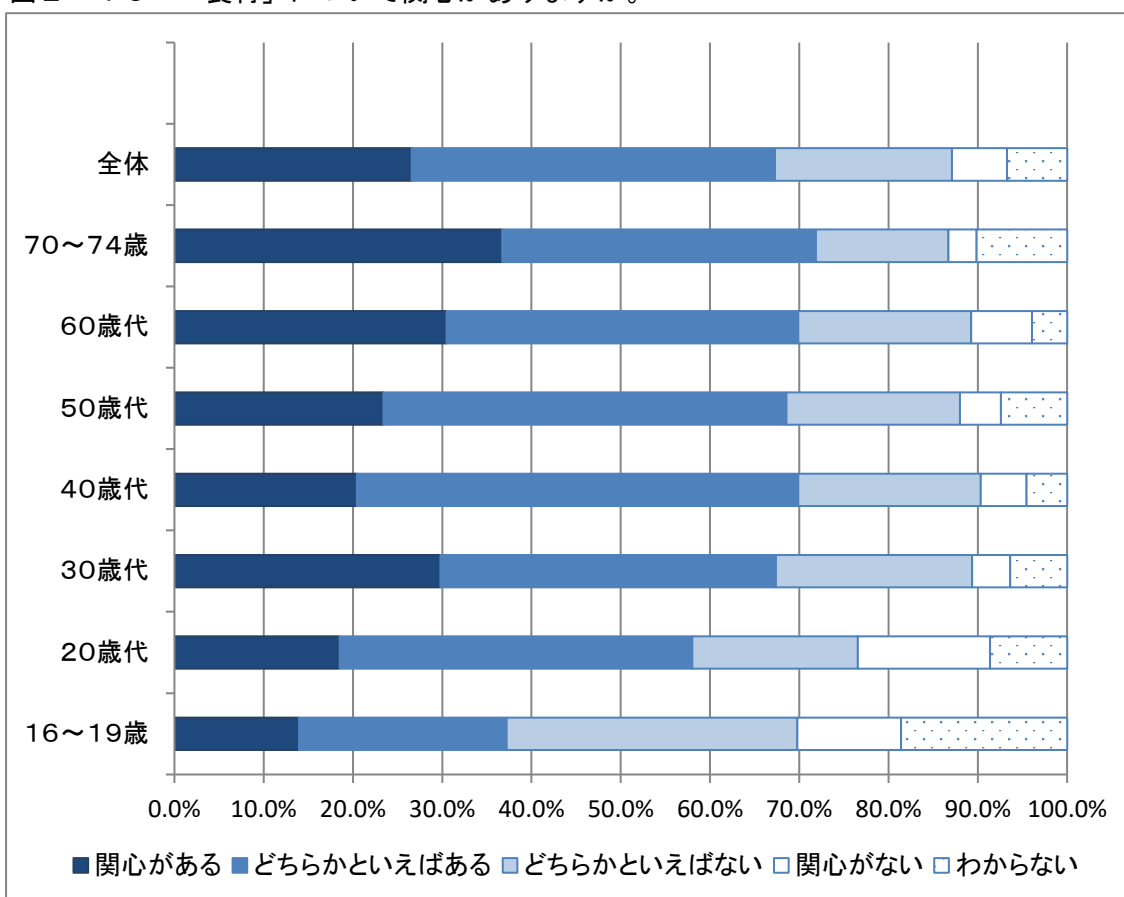


図2-16 食育についての関心度(年度別比較)

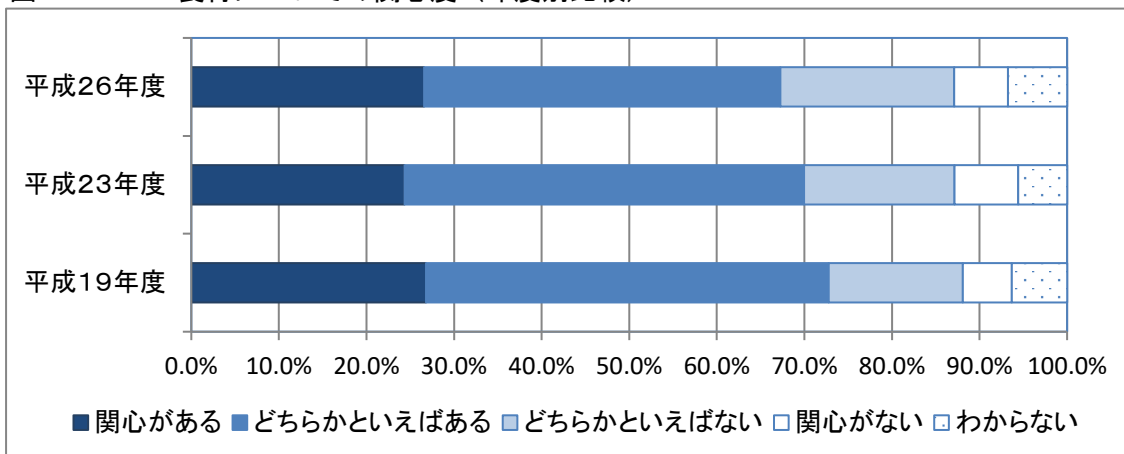
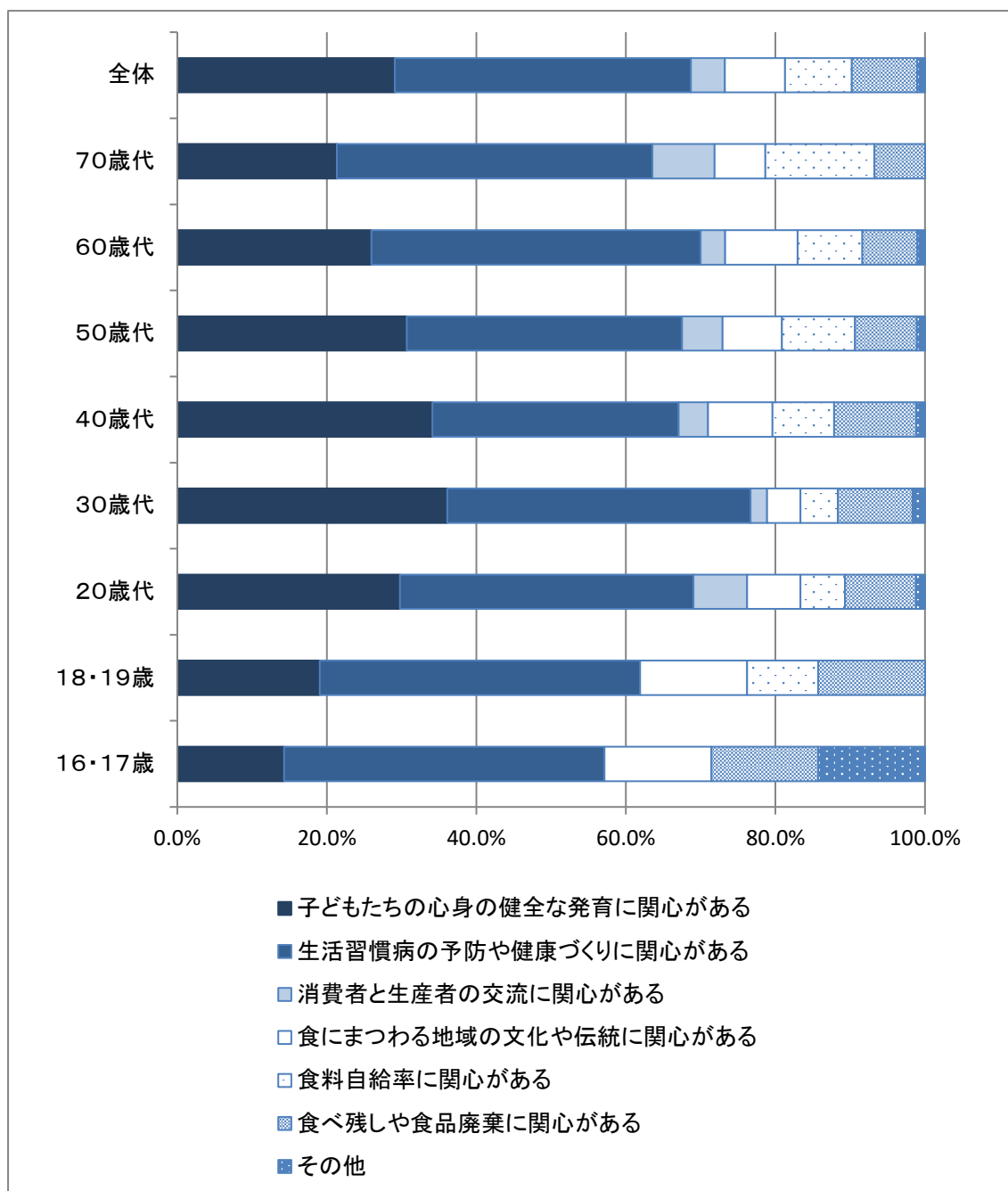


図2-17 食育に関心がある理由は何ですか。



(複数回答による結果)

食育に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した人の理由は、40歳代を除きすべての年代で「生活習慣病の予防や健康づくりに関心がある」を選んだ人が一番多く、次いで「子どもたちの心身の健全な発育に関心がある」となりました(図2-17)。

多くの人が「健康」「健全な発育」といった体に関することを理由に、食育に関心を持っている様子が伺えます。

キ 食生活で気をつけていることについて

毎日の食生活で、健康的な食事内容を心がけている割合は全体で約82%となりました（図2-18）。

健康的な食事内容としては、主食・主菜・副菜をそろえるなどのバランスの良い食事をする、野菜を積極的に摂取する、脂質や塩分を控える、適切な食事量に配慮するなどの食生活を心がけています。しかしながら、食事バランスガイドを参考に食べるようにしている割合は約12%と、低い割合となっています（図2-19）。

図2-18 毎日の食生活で健康的な食事内容を心がけていますか。

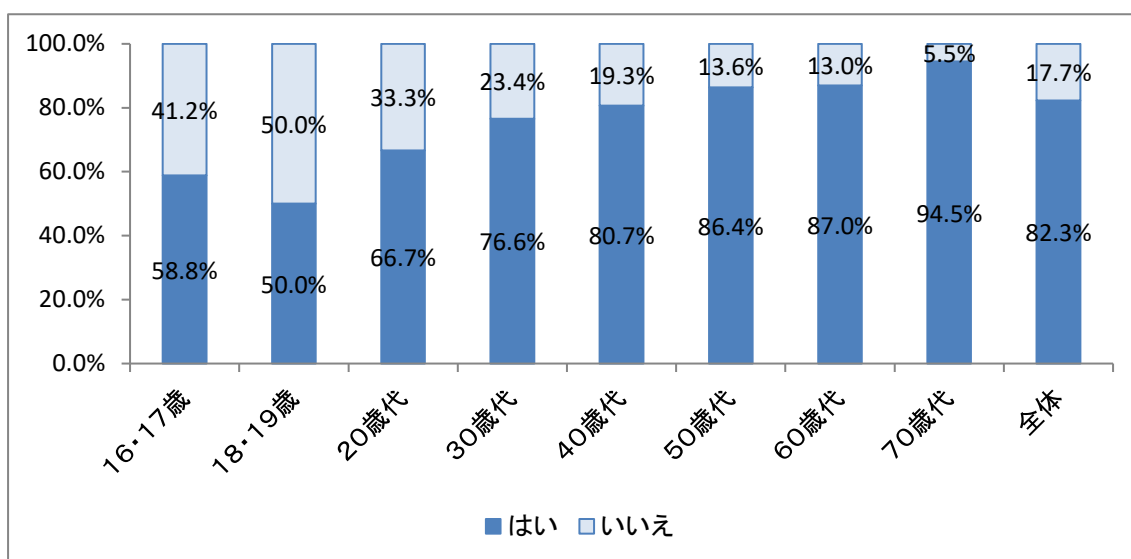
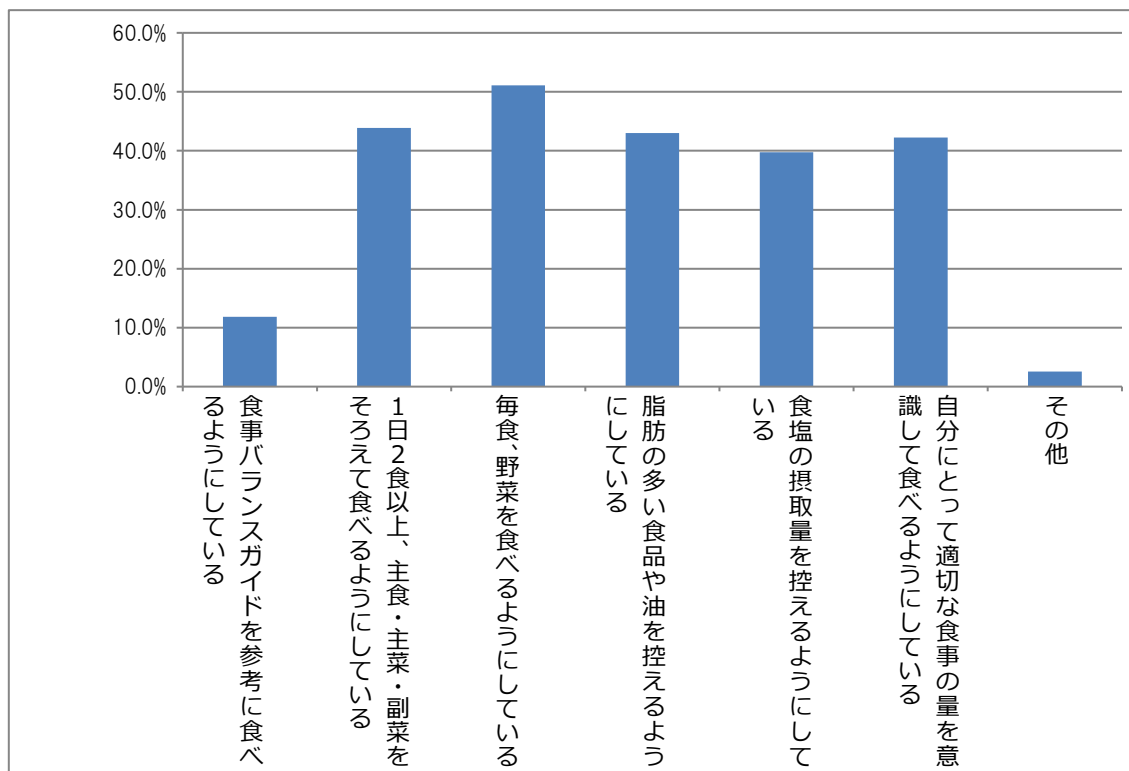


図2-19 具体的にどのような食事内容を心がけていますか。

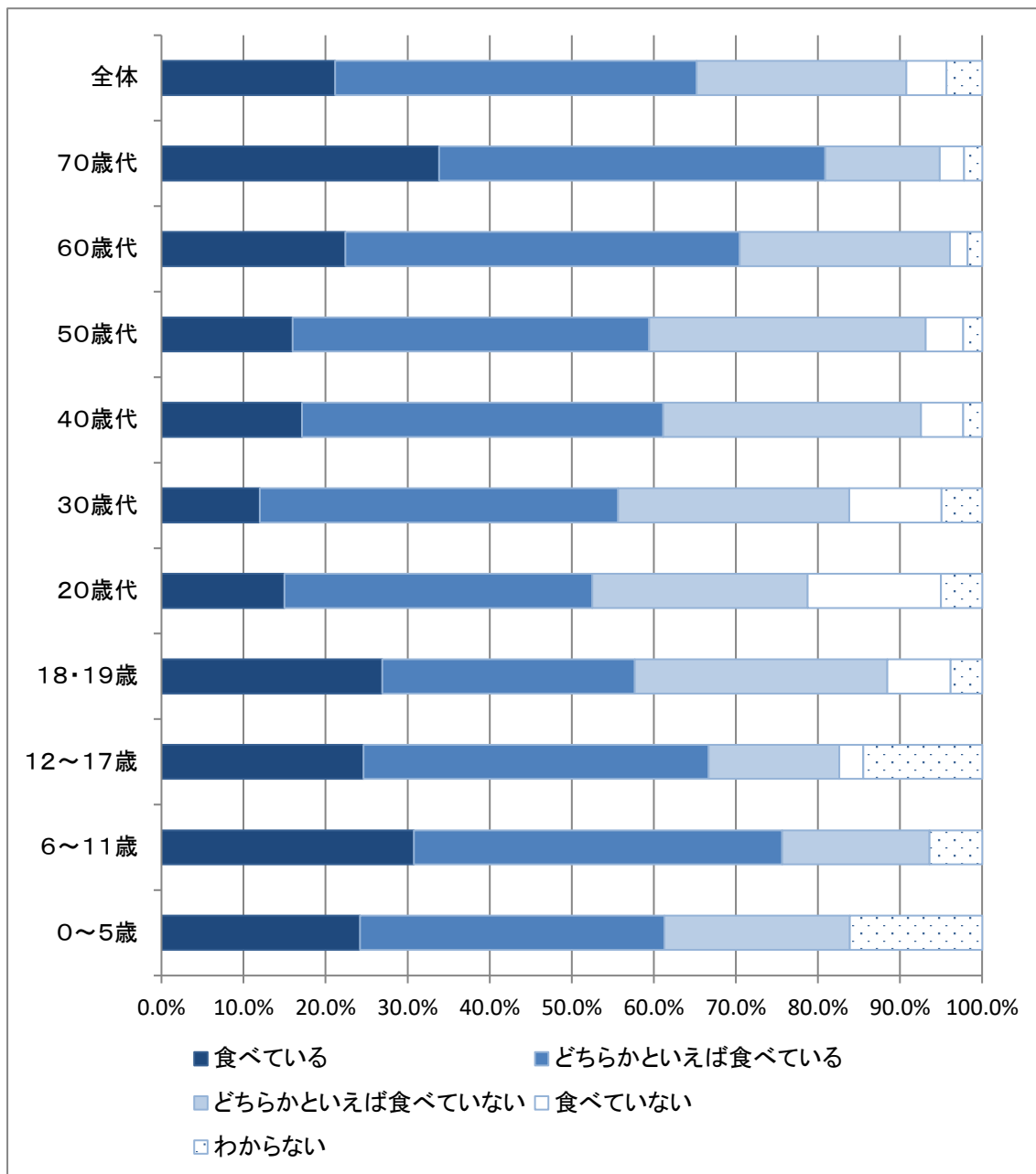


(複数回答による結果)

ク 咀嚼（そしゃく）について

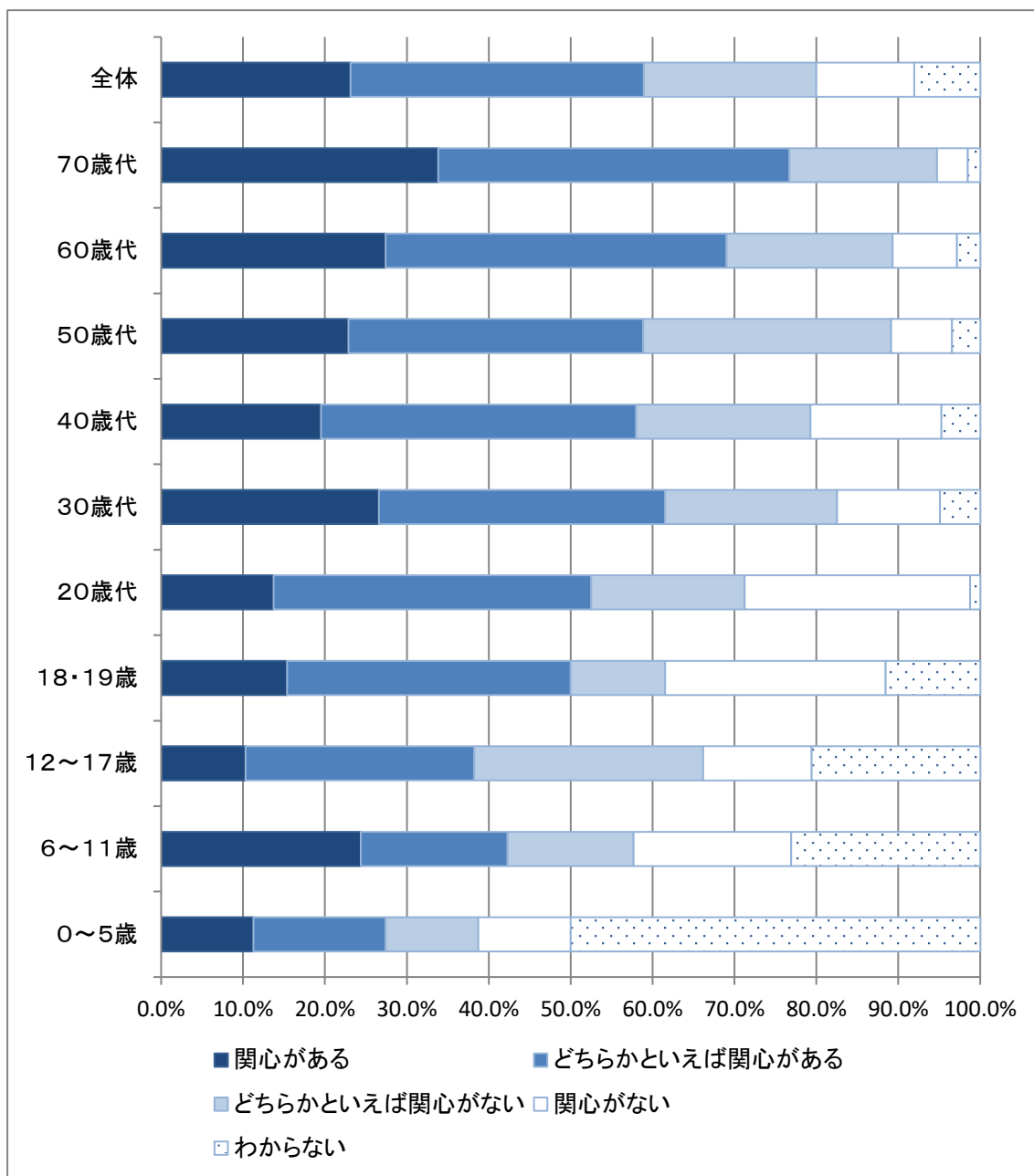
普段の食生活において、よく噛んで味わって「食べている」「どちらかといえば食べている」を合わせた「よく噛んで味わって食べている」と回答した割合は全体で約65%となっています（図2-20）。

図2-20 普段の食生活においてよく噛んで、味わって食べていますか。



また、噛み方、味わい方といった食べ方に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した割合は全体で約58%となり、壮年期から高齢期にかけて関心が高まる傾向が見られます。(図2-21)。

図2-21 噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか。

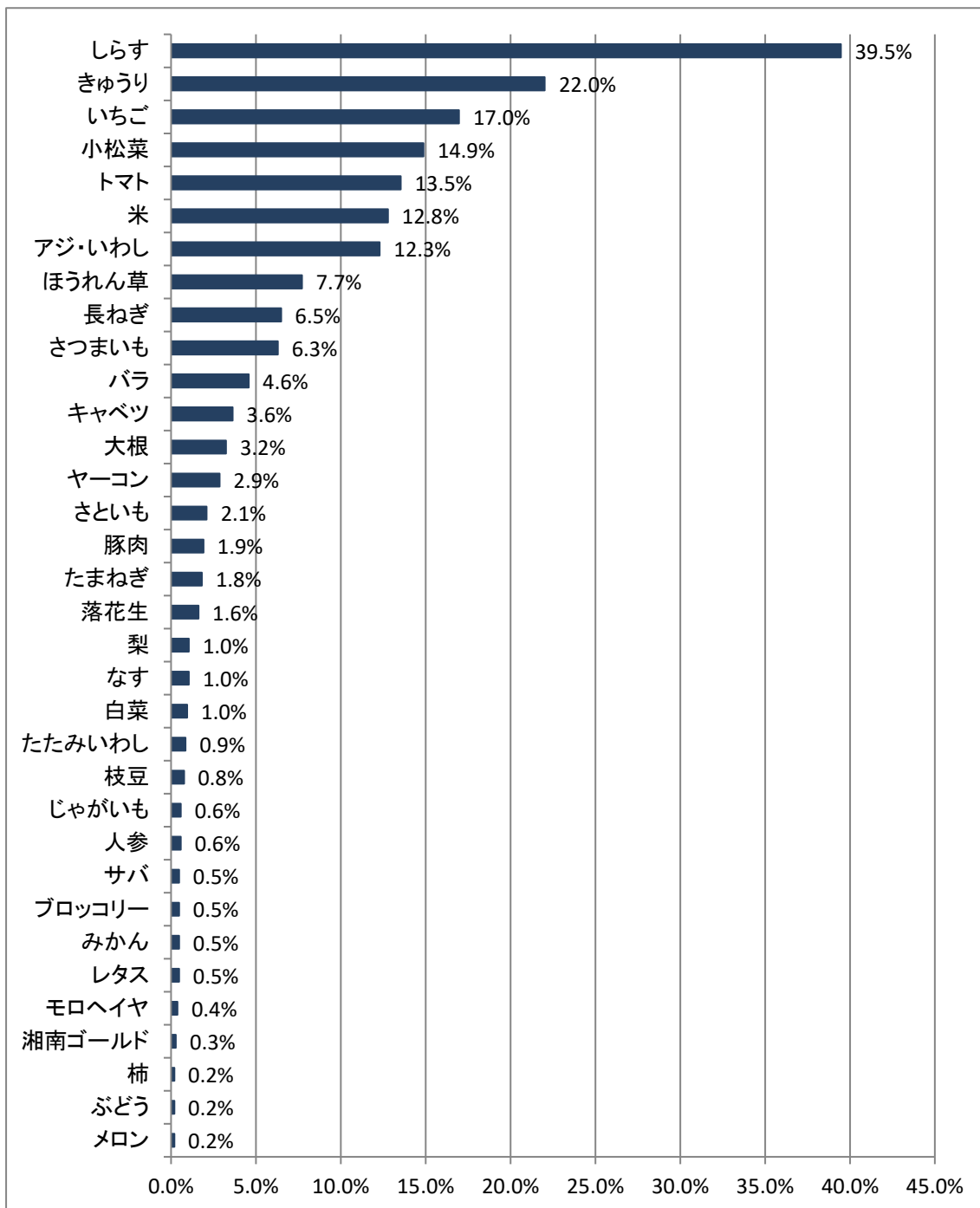


## (2) 食を取り巻く環境

### ア 地場産品の認知状況

平塚市には多くの地場産品があり、「しらす」「きゅうり」「いちご」「小松菜」の認知度はとても高い状況です。また、この結果を見ても、多種類の平塚産農水産物が市民に認知されている状況が伺えます（図2-22）。

図2-22 平塚でとれる地場産品（農水産物）で思い浮かぶものがありますか。



(複数回答による結果)

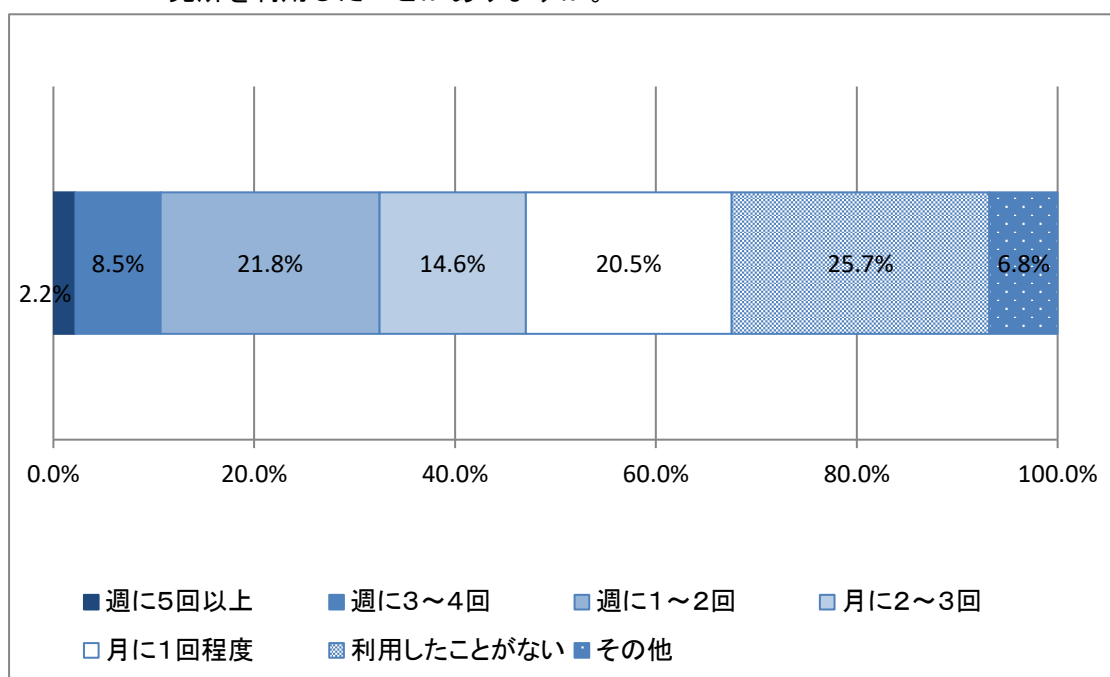
## イ 直売所の利用状況

近年の消費者の農水産物に対する安全・安心志向の高まりや、生産者の販売方法の多様化が進む中で、生産者の顔が見える「直売所」の利用は、地産地消に結びつく取組みの一つになります。

アンケートでは、65%以上の方が月に1回以上の頻度で利用すると回答し、4人に1人は利用したことがないと回答しました（図2-23）。

また、「その他」の多くには、「年に何回か利用」、もしくは「直売所は近くにないため近所のスーパーの地場産品コーナーで購入する」といった回答がありました。

図2-23 どれくらいの頻度で地場産の野菜、果物、花などの農水産物を購入できる直売所を利用したことがありますか。



現在、本市では平塚産農産物を「ひらベジ」と愛称をつけてPRしています。また、ひらベジPRキャラクター「ベジ太」を作成し、直売所や地場産品を扱うスーパーなどで「ベジ太フラッグ」を掲げて平塚産農産物のPRに努めています。



平塚市の地形から  
うまれたベジ太。

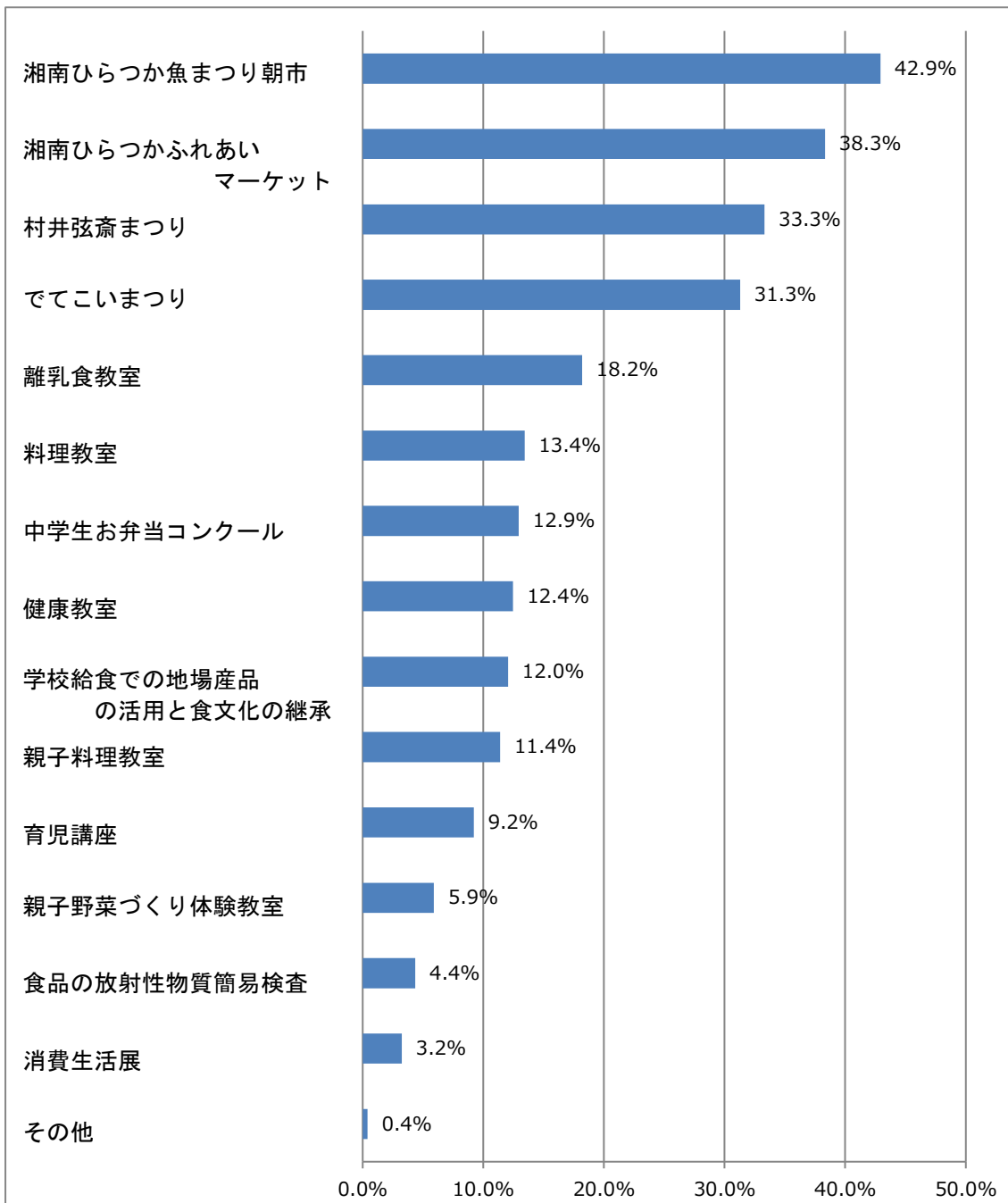


ウ 食育事業の認知状況と、参加したい食育事業

本市では、多くの事業を実施していますが、中でも「湘南ひらつか魚まつり朝市」「湘南ひらつかふれあいマーケット」「村井弦斎まつり」「でてこいまつり」の認知度が特に高い状況が伺えます（図2-24）。

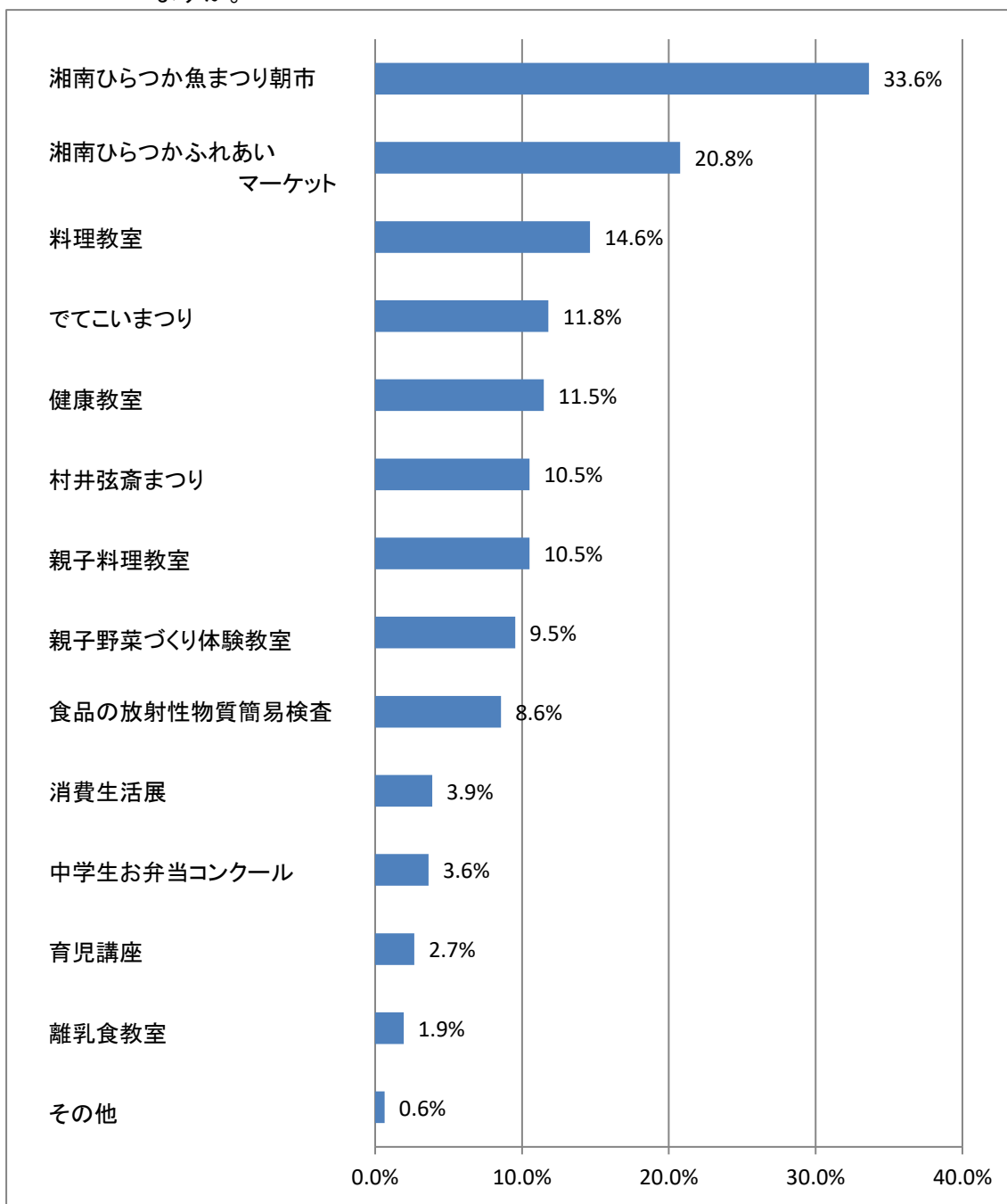
また、参加したい、または興味がある事業は「湘南ひらつかふれあいマーケット」「料理教室」「でてこいまつり」といった、体験型の事業を選ぶ傾向が多く見られました（図2-25）。

図2-24 平塚市で行っている食育事業で知っているものはありますか。



(複数回答による結果)

図 2-25 平塚市で行っている食育事業で参加したい、または興味がある事業はありますか。



(複数回答による結果)

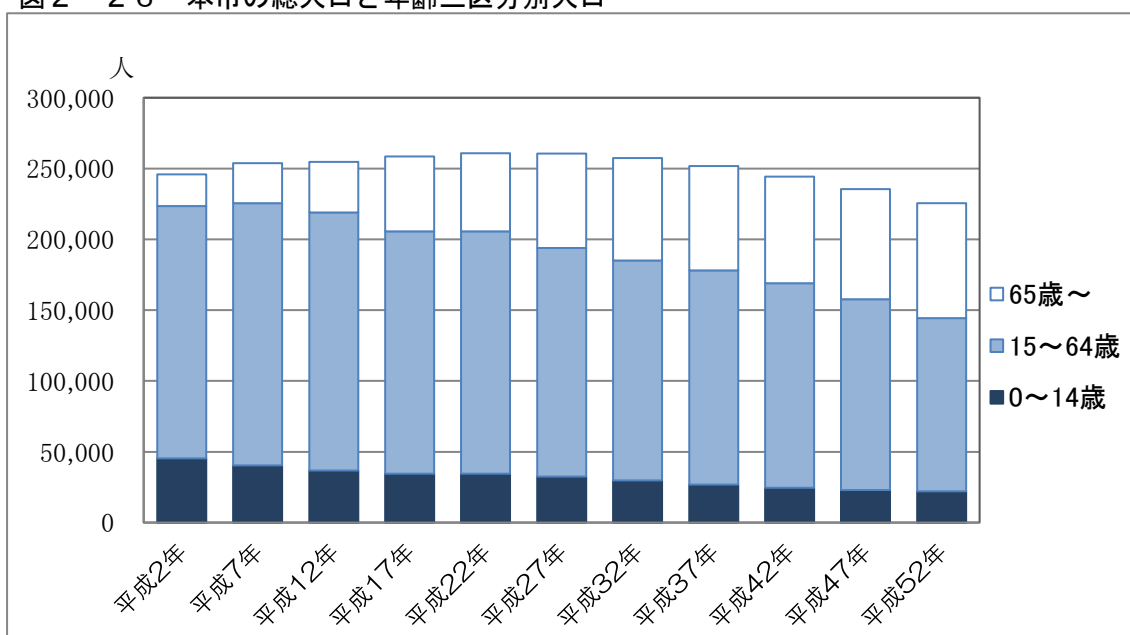
## エ 高齢化率の上昇

本市の老年人口の割合は県に比べて高く、高齢化が進んでいる現状です（図 2-27）。

また、65歳以上の老年人口の増加は全国的な傾向と変わらず、10年後には約3割が65歳以上になると予測されています（図 2-26）。

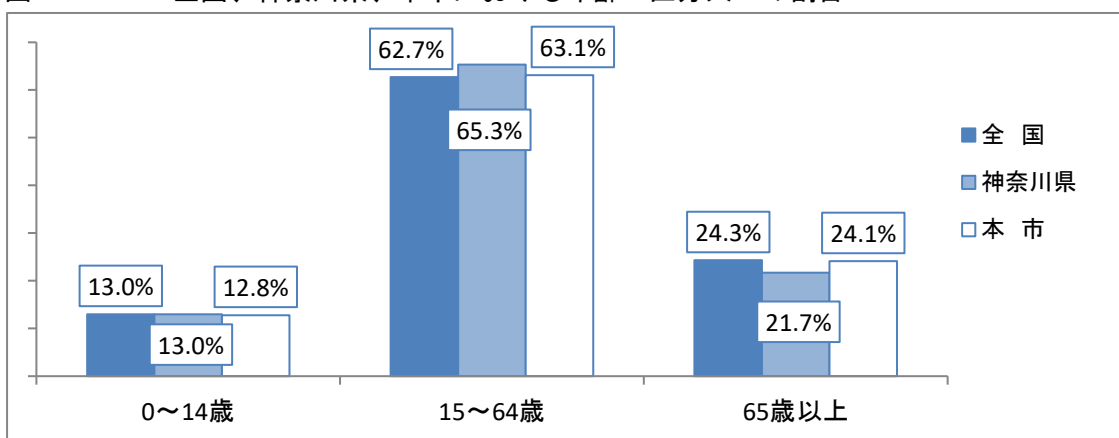
約4人に1人が65歳以上となり、更にその割合が高まることが予測される中で、高齢者への食育は、高齢者が生き生きと生活できるよう、健全な食生活を確保するうえで、重要な課題です。健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間「健康寿命」の延伸につながるよう、高齢者も含めたライフステージに応じた食育の展開が必要です。

図 2-26 本市の総人口と年齢三区分別人口



(出典) 国勢調査結果、国立社会保障・人口問題研究所 (平成 25 年 3 月公表)

図 2-27 全国、神奈川県、本市における年齢三区分別人口の割合



(出典) 神奈川県年齢別人口統計調査 (平成 25 年 1 月現在)

平塚市の年齢別人口 (平成 26 年 1 月現在)



## 第3章

### 第1次計画の成果と課題

#### 1 成果と課題

## 第3章 第1次計画の成果と課題

### 1 成果と課題

前計画では、4つの基本方針ごとに具体的な指標を掲げ、様々な事業に取り組みました。

各指標及び数値目標に対する達成状況や、市の取組みの成果を踏まえ、前計画の評価を行います。評価に用いる策定時、中間調査、最終評価の値は、主に平塚市食育推進のための実態調査（平成19年、平成23年、平成26年実施）の結果を用いています。また、評価方法については、P29に掲載しています。

#### 基本方針（1）家庭ではじめる食育

〈主な取組み〉

厚生労働省、文部科学省がすすめる「早寝早起き朝ごはん」を基本とした乳幼児期からの規則正しい食生活習慣の形成や、食を楽しみ、食べることを大切にする気持ちを育むための取組みを推進しました。

〈成果〉

幼児期（3歳児）の食事のリズムを意識している割合は、計画策定時に比べて大きく増加しました。目標値の2人に1人から、3人に2人以上の人が正しい生活習慣を意識しています。

表3-1

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況	
家庭ではじめる食育	早寝早起き朝ごはんを 実践する家庭の割合	50%	34.4% (3歳)	16.7% (0~5歳)	71.4% (3歳)	142.8% A	
	バランスのとれた 朝食を食べる 子どもと大人の割合	0~5歳	60%	44.8%	51.7%	50.0%	83.3% B
		20歳代	55%	40.0%	28.4%	31.6%	57.5% D
		30歳代	50%	35.0%	41.1%	43.5%	87.0% B
		40歳代	60%	45.0%	36.0%	52.4%	87.3% B

〈課題〉

全体的に朝食を毎朝食べる割合は増加し（P9図2-5）、指標に掲げているバランスのとれた朝食をとっている割合も多く年代で増加したものの、目標は達成できませんでした。

今後も、朝食の欠食率を減少させるとともに、バランスの良い食生活の啓発が必要です。

## 基本方針（２）体験を通じた食育

### 〈主な取り組み〉

農業・漁業体験や、料理体験を通じて、食べ物の生産から料理まで様々な体験をすることで、食に対する関心と理解を深めることができ、食べ物に対する感謝の気持ちを育てました。また、平塚にゆかりのある「村井弦斎」の唱えた食育の考えを継承し、食育に関する事業への参加を促進しました。

### 〈成果〉

食に関する体験活動・情報提供の場の充実は本市関連各課で事業を実施し、子どもたちから地域住民まで、市民が食生活の基盤の形成や、食べ物への感謝、食べることの大切さを理解できる環境が整いました。

表 3 - 2

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況	
体験を通じた食育	食に関する体験活動・ 情報提供の場の充実	小中学校	43校	29校	未調査	43校	100.0% A
		高校	6回	2回	2回	1回	16.7% D
		公民館	26公民館	18公民館	未調査	26公民館	100.0% A
		漁業・加工 見学	2回以上	1回	2回	2回	100.0% A
		パンフレット 作成	作成・普及	未実施	作成・普及	作成・普及	作成・普及 A
	食に関する事業を知っている件数	3件	2.3件	2.3件	2.6件	86.7% B	
	食育を唱えた村井弦斎の認知率	40%	29.0%	33.4%	31.7%	79.3% C	

### 〈課題〉

食に関する事業の件数や、食育を唱えた村井弦斎の認知率は計画策定時に比べると若干増加しているものの、目標は達成できませんでした。

今後も食に関する体験活動を通じて食育の推進を図ると共に、平塚市で行っている食育事業の啓発を行うことが必要です。

### 基本方針（３）健康づくりのための食育

#### 〈主な取組み〉

食事の基本であるバランスのとれた食事を実践するために、食事バランスガイドの活用方法や健康的な食生活（野菜の１日摂取量）について各種教室、講座などで情報提供しました。

#### 〈成果〉

平塚版食事バランスガイドは、平塚市食生活改善推進団体の協力のもと、作成しました。現在、市内の公共機関で自由配布し、本市ホームページでも閲覧することが可能です。

表 3-3

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況
健康づくりのための食育	平塚産食材を使った食事バランスガイドの普及	作成・普及	未実施	未実施	作成・普及	作成・普及 A
	野菜を1日350g食べている人の割合	60%	45.0%※	48.1%※	21.0%	35.0% D

※平塚市民の健康意識アンケート調査（平成20年、平成24年実施）結果から

#### 〈課題〉

野菜の摂取量の増加は、体重コントロールや生活習慣病予防に効果があると言われ、本市の健康増進計画でも「野菜を1日350g食べている人の割合を増やす」を指標として掲げ、多くの事業で食事バランスガイドを用いて、「野菜を1日350g食べよう」「野菜を1日5皿食べよう」を啓発してきました。

しかし、「野菜を1日350g食べている人の割合」は、計画策定時よりも減少しています。

本市は、農業が盛んで、地場産野菜も多く生産されるなど、地産地消の推進とともに、野菜摂取量の増加を更に啓発していく必要があります。

## 基本方針（４）人とのふれあいを通じた食育

### 〈主な取組み〉

行政間や団体間の連携を図り、互いの活動に積極的に参加・協力することにより、市民一人一人が主体となって食育活動に取り組めるよう推進しました。

### 〈成果〉

表 3 - 4

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況
人とのふれあいを通じた食育	食育ボランティアの人数の増加	320人以上	289人	H24.4 287人	H26.4 283人	88.4% B
	食育に関心を持っている人の割合	90%以上	70.3%	67.5%	66.3%	73.7% C

### 〈課題〉

食育ボランティアの人数の増加、食育に関心を持っている人の割合ともに、計画策定時に比べ、増加しませんでした。本市の食育ボランティアは、平塚市食生活改善推進員を言い、今後も会員数については課題となります。

また、食育に関心を持っている人の割合は、国や県に比べても低い現状です。本市では、様々な食育活動を展開していく中で「食育」に関心を持てるように更なる啓発が必要です。

### 【前計画評価方法及び達成状況】

〈評価方法〉 最終評価値÷目標値×100 (%)

〈評価基準〉 A：目標達成 B：8割達成 C：6割達成 D：6割以下

〈達成状況別指標数〉 A：6項目 B：5項目 C：2項目 D：3項目



## 第4章

### 平塚市が目指す食育の方向

- 1 基本理念
- 2 基本方針
- 3 計画の体系
- 4 具体的な取組みと計画指標

## 第4章 平塚市が目指す食育の方向

### 1 基本理念

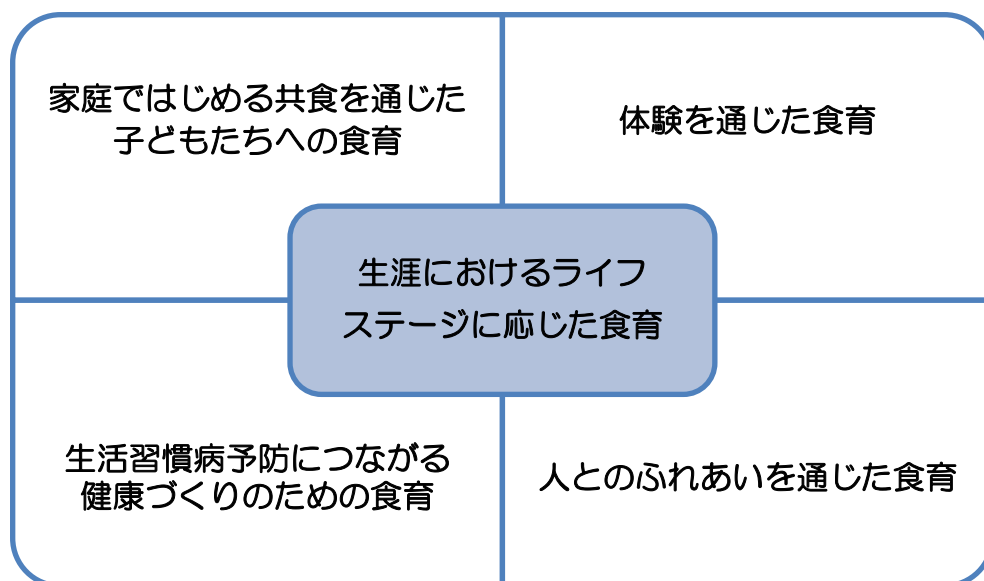
本市は、温暖な気候と里山や田園、海などの自然に恵まれた地域であり、農業が盛んで県内でも農産物の生産量はトップクラスを誇ります。また、食育の重要性を説いた小説家「村井弦斎」のゆかりの地であることや、食生活改善推進団体が県内で初めて設立されるなど、食に関する歴史と基盤があります。

このような環境に恵まれた本市で、前計画からの基本的理念「みんなではぐくもう！食育のまち ひらつかの未来」を継承し、次世代を担う子どもから大人まで、ライフステージに応じた食育の推進を目指します。

**みんなではぐくもう！食育のまち ひらつかの未来**

### 2 基本方針

次世代を担う子どもの健やかな成長やより良い食生活環境を継承すること、いくつになっても生涯にわたり健全な心身を培い豊かな人間性を育むことを目的に、前計画の基本方針を継承しつつ、更に生涯におけるライフステージに応じた食育を加えた5つの基本方針を掲げ、市民自らが食育を実践していくことを推進します。



## ●基本方針

### 〈家庭ではじめる共食を通じた子どもたちへの食育〉

子どもたちが健やかに成長するために必要な「適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠」は基本的な生活習慣の形成で確立されます。

また、子どもたちが食卓を囲む家族の団らんに食の楽しみを実感できる、食事のマナーや挨拶習慣等、食や生活に関する基礎習慣ができる共食の推進など、「食の楽しさを実感できる食育」の推進に努めます。

### 〈体験を通じた食育〉

食に関する考え方が形成される幼少期は、農林水産体験を行うことによって食への関心と理解を深めることが期待されます。地域で生産したものを地域で消費する「地産地消の取組み」は、身近な場所で作られた新鮮な地場産品を使って料理し、食べることで「生産者」や「食」についての理解が深まります。

また、村井弦斎の唱えた食育の考え方を継承し、食育関連行事への参加の促進を図ります。

### 〈生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育〉

市民が健康で元気に生活を維持するためには、生活習慣病の予防が課題です。健康で幸福な生活を送るために欠くことのできない「食事」は、毎日の営みであり、多くの生活習慣病の予防のほか、生活の質の向上という面から見ても重要です。

食の基本である、バランスのとれた食事を実践するために、1日3食きちんと食べる、しっかり噛んで食べるなど、健全な食生活の実践につながる取組みを推進します。

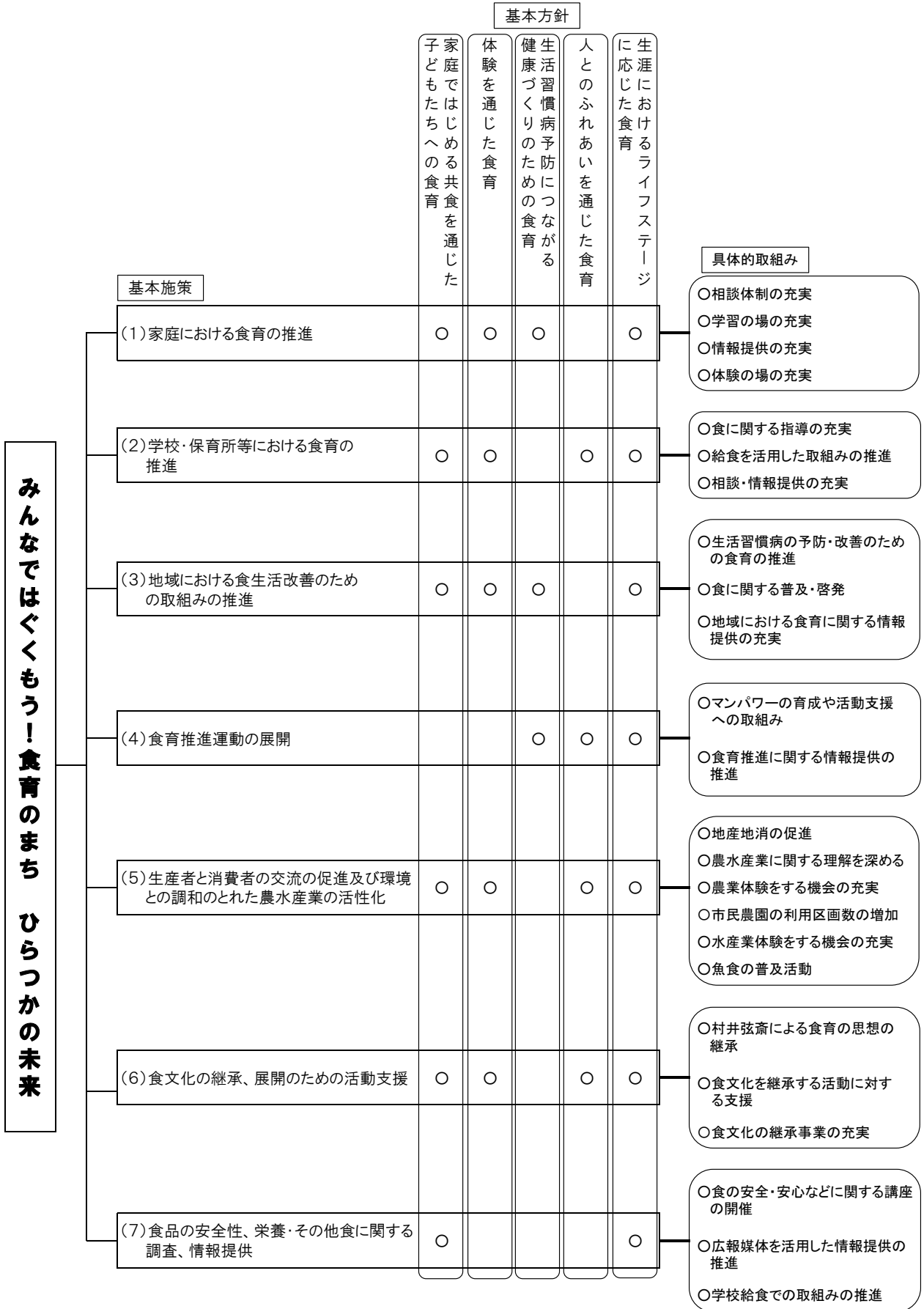
### 〈人とのふれあいを通じた食育〉

食育の推進は、市民が自ら活動を実践することを目指すため、行政間や団体間の連携を図り、互いの活動に積極的に参加・協力しています。現在活躍しているボランティアの活動の更なる充実や、食育推進活動の周知から参加の促進を図ります。

### 〈生涯におけるライフステージに応じた食育〉

次世代を担う子どもからはじまり大人、高齢者に至るまで、市民一人一人が自ら食育に関する取組みを実践し、超高齢社会の中、生涯にわたり健全な心身を培うことができるよう推進します。

### 3 計画の体系



## 4 具体的な取組みと計画指標

### 基本施策（１）家庭における食育の推進

#### 【現状と課題、計画指標】

子どもたちが健やかに成長するために必要な「適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠」は基本的な生活習慣の形成で確立されます。その中で、前計画では「早寝早起き朝ごはん」を基本とした乳幼児期からの規則正しい食生活習慣の形成を啓発してきました。その結果、早寝早起き朝ごはんを実施する家庭の割合は増加しました（P 26表3-1）。

「早寝早起き朝ごはん」を実践する乳幼児の割合が増加した一方、思春期以降になると朝食を欠食する傾向が、今までの本市のアンケートからも読み取ることができます（P 9図2-5）。また、学童期では、全く食べない割合は少ないものの、朝食を食べないことがある割合が目立ち始めます。なかでも、20歳代からは男女の朝食摂取頻度の差が大きくなり、青年期の男性の朝食摂取頻度が低い状況です（P 10図2-9）。

朝食欠食者の欠食理由として思春期は、「時間がない」や「食欲がない」といった理由から始まり、20歳代以降になると40%近くの人が「食べる習慣がない」といった理由に移行しています（P 10図2-10）。これら朝食欠食の年代別推移は国や県と大きな差は見られません。

また、ライフスタイルや家族間の関わり合いが多様化している中で、家族が食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図る共食は、食育の原点であり、子どもへの食育を推進していく大切な時間と場であると考えられます。しかしながら、本市の共食の現状は、国や神奈川県と大きな差はなく、思春期以降の共食率は特に低下しています（P 11図2-11、P 12図2-12、2-13）。

社会環境の変化や生活習慣の多様化等と合わせて、食に対する意識の希薄化が進む中、朝食を欠食する割合を減らす、共食の回数を増やすなどの「家庭ではじめる共食を通じた子どもたちへの食育」を推進していきます。

\* 指標に年齢などが記載されていない場合は、20歳以上の人を対象とします

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
朝食を欠食する市民の割合の減少 子ども(小学生)	男子 0.9% 女子 1.2%	0%	0%	0%	0%
20歳代～30歳代 男性	22.8%	15%	15%以下	15%以下	15%以下
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる 「共食」の回数(一週間)の増加	9.5回	10回	11回以上	10回以上	10回以上
食育に関心をもっている人の割合の増加	68.6%	80%	90%	90%以上	90%以上

## 具体的な取組み

### 【相談体制の充実】

育児や家庭での食生活面の不安の解消や安心の提供を目的とした相談、アドバイスを行います。

事業名	事業内容	担当課
子ども総合相談	地域の公共施設に出向き、乳幼児期の子育て支援情報の提供や育児に関する相談を行います。	こども家庭課
子育て支援事業	子育てサロンで育児講座の実施や相談、電話による相談を行います。	保育課
乳幼児健診・ 育児相談	幼児健診や育児相談の場で相談、乳児健診後の電話相談や、要望に応じて訪問や来所、電話、インターネット相談を行います。	健康課
就労者への 情報提供	企業へチラシを配布し、健康講話の実施や健康相談を受け付けます。	産業振興課 健康課

### 【学習の場の充実】

妊婦やその家族、乳幼児の保護者などに対し、食生活に関する正しい知識を普及し、育児不安の解消や積極的な健康づくりを図るため、教室の開催や、情報提供を行います。

事業名	事業内容	担当課
食育関連パンフ レットの配付	婚姻届を提出する窓口に、新婚家庭向けの情報提供パンフレットを設置します。 また、母子手帳を交付する際などに、父親になる方向けに『父子育児手帳』を配付します。『父子育児手帳』には、妊娠中の妊婦の食生活についてや育児に必要な離乳食、幼児食についても掲載されています。	健康課
母親父親教室	母親父親教室では、助産師・保健師・栄養士・歯科衛生士などの専門職が、安心安全なお産を迎えるための教室を行います。 また、栄養士が妊娠中から産後に必要な食生活について、講話や実習など、妊婦やその家族を対象に体験型の教室を行います。	
離乳食教室	各月齢に合わせた離乳食の教室や、離乳食の開始から卒乳までの内容を組み込んだ教室を行います。	
幼児教育	2歳児歯科健診の会場で、歯科衛生士と栄養士が幼児と保護者に対して噛むことの大切さや生活リズムについての集団指導を行います。	

事業名	事業内容	担当課
思春期対策事業	思春期に必要な食生活や、将来、健康的な成人期を迎えるにあたっての教室を保健師、助産師、栄養士で行います。	健康課
祖父母のための食育教室	保育所等で開催される敬老週間事業などへ出向き、祖父母を対象に食育教室を行います。	
子どもの生活習慣病予防対策事業	小児期から規則正しい生活習慣を身につけ、生活習慣病を予防するために、5歳児肥満度調査や5歳児生活実態調査、幼児や保護者を対象とした巡回教室、予防相談などを行います。	

#### 【情報提供の充実】

地域で活動する子育てサークルなどの団体の希望により食育教室や個別相談を行います。

事業名	事業内容	担当課
地域依頼教室の開催	地域で実施されている子育て支援事業に出向いて、食育講話や個別の相談を行います。	健康課

#### 【体験の場の充実】

子どもが食について関心を持ち、保護者や地域の人とふれあいながら食育を实践できる場を提供します。

事業名	事業内容	担当課
食育事業	食生活改善推進団体に委託し、地域住民が健康的な食生活の知識を身につけられるよう、講話や調理実習を取り入れた事業を行います。	健康課
親子で朝ごはんクッキング教室	未就学児とその保護者を対象に、バランスの良い朝食を簡単に調理し、試食します。また、食育クイズや生活リズムについての講話を行います。	

## 基本施策（２）学校・保育所等における食育の推進

### 【現状と課題、計画指標】

社会状況の変化に伴い、子どもたちの食の乱れや健康への影響が見られることから、学校や幼稚園、保育所等は、子どもへの食育を進めていく場として大きな役割を担っており、あらゆる機会とあらゆる場所を提供し、積極的に食育の推進に努めてきました。また、学習指導要領の総則に「学校における食育の推進」が明記され、各教科等でも食育についてより充実した内容となりました。本市でも、前計画の指標で「食に関する体験活動・情報提供の場の充実」を掲げ、各小中学校に食教育推進担当者を置き、全43校が食育全体計画を作成し、食に関する指導を行うことができました（P27表3-2）。

学校給食では、地域の生産者団体と協力し、学校給食地場産等食材使用推進事業に取り組み、地域で生産された新鮮な農水産物を提供するなど、地産地消の推進や食べ物への感謝の心を育てる食育を推進しました。

また、乳幼児期からの食育の重要性が増していることを考慮し、平成21年4月施行の保育所保育指針の中で「食育の推進」が位置付けられました。保育所における食育は、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標としています。本市は、子どもが毎日の生活と遊びの中で、食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しめるような取組みを推進しました。

子どもの食を考える時、保育所だけではなく、家庭と連携・協力して食育を進めていくことは不可欠です。食に関する子育ての不安・心配をかかえる保護者は少なくありません。保育所保育指針では、一つの柱として保護者に対する支援を重視しています。本市でも、保護者を対象にした事業や、保育園に入園していない地域の子育て家庭への支援を推進します。

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
食に関する年間指導計画を策定している公立小中学校の割合	100%	100%	100%	100%	

## 具体的な取組み

### 【食に関する指導の充実】

学習指導要領の総則に「学校における食育の推進」が明記され、各教科等でも食育に関する記述が充実されました。また、幼稚園教育要領においても、食育についてより充実した内容となりました。保育所では、保育所保育指針に基づき保育の一環として食育が位置づけられました。それに伴い、児童、生徒及び園児が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるよう、各学校や幼稚園、保育所において様々な学習や指導、体験活動を行います。

事業名	事業内容	担当課
食に関する指導	各小中学校において、食育全体計画を作成し、食教育推進担当教員や栄養教諭及び学校栄養士等が連携して、食に関する指導（食べ物の働き、マナー、献立作成等）を行います。また、米作りや野菜の栽培・収穫体験をし、食材への興味・関心を育てます。	教育指導課 学校給食課
	幼稚園において、お弁当の時間に食べることの楽しさを感じられるような指導を行います。また、野菜の栽培・収穫体験をし、食材への興味・関心を育てます。	教育指導課
	保育所において、保育士や栄養士が園児に対して野菜の栽培や調理体験、バイキング給食などを行います。	保育課

### 【給食を活用した取組みの推進】

小学校では学校給食を生きた教材として、地産地消の推進や地域の自然や文化、産業などの理解ができるような取組みを行います。また、中学校では、小学校給食で学んだ知識を生かし、生徒自身がお弁当作りを実践する「中学生自分で作るお弁当コンテスト」を実施します。

なお、保育所においては保護者に向けた試食会や食育講話など、保護者に向けた食育を推進します。

事業名	事業内容	担当課
学校給食地場産野菜等使用推進事業	学校給食における地場産農産物等の積極的な使用に努め、「地産地消」の推進を図ります。また、給食の予定献立表や給食時間の放送、平塚産野菜PRキャラクターを用いた給食を実施し、「地産地消」について児童へ啓発を行います。	学校給食課

事業名	事業内容	担当課
ふれあい給食	小学校に農業や漁業、畜産業の生産者及び関係者を招いて、小学生と一緒に給食を食べながら生産者の話を聞き、地域産業の理解や地産地消の推進につなげます。	学校給食課 農水産課
給食試食会	保育所に園児の保護者を招き、園児と一緒に給食を試食します。また、栄養士の食育講話も行います。	保育課

【相談・情報提供の充実】

健康に影響が生じている子どもや保護者への生活習慣及び食習慣に関する相談、食に関する子育ての不安や心配をかかえる保護者に対する相談並びに情報提供を行います。

事業名	事業内容	担当課
児童健康教室（子どもの生活習慣病予防対策事業）	小学校4年生の肥満度が高い児童を対象に、医師や栄養士、運動指導士が健康相談や運動指導を行います。	教育総務課
開放保育	子育て家庭に対して、開放保育の場で献立表や食育だよりを配布し、食に関する情報提供や相談を行います。	保育課

### 基本施策（3）地域における食生活改善のための取組みの推進

#### 【現状と課題、計画指標】

心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らしていくためには、人生の各段階に応じた一貫性・持続性のある食育を推進することが求められています。特に、日本人の最大の死亡原因となっている生活習慣病を予防する上では、食生活の改善を図るとともに運動の習慣化が欠かせません。また、生活の質の低下を防ぐため、糖尿病の重症化予防も重要です。このため、栄養バランスに優れた日本型食生活の実践の促進、健康づくりや生活習慣病の予防及び改善につながる健全な食生活の推進など、家庭や学校、保育所、生産者、企業等と連携しつつ、地域における食生活の改善が図られるよう、適切な取組みを行うことが必要です。

そうした中、本市の前計画や平塚市健康増進計画で「野菜を350g食べる人を増やす」取組みを実施してきました。しかしながら、本市の20歳以上の野菜摂取量の現状は、前計画策定時よりも減少しました（P13図2-14、P28表3-3）。

健康で幸福な生活を送るために欠くことのできない「食事」は、毎日の営みであり、多くの生活習慣病の予防のほか、生活の質の向上という面から見ても重要です。本市の現状は、健康的な食生活を心がけている割合は全体の約84%となり、中でも主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている割合や、毎食野菜を食べるようにしていると回答した割合が高い状況です（P16図2-19）。また、健康的な食生活を営むためには、小児期から高齢期まで各ライフステージに応じた食べ方の支援として歯科保健分野からの食育の推進が欠かせません。すべての市民が健やかで豊かな生活を過ごすため、80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目的とした「8020運動」や、一口30回以上噛むことを目標とした「噛ミング30」などの運動を推進していますが、よく噛んで味わって食べるなどの食べることに関心がある割合は国や県に比べると若干低い状況です（P17図2-20、P18図2-21）。

食の基本である、バランスのとれた食事を実践するために、1日3食きちんと食べることや、しっかり噛んで食べるなど、健全な食生活の実践につながる取組みを推進します。

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
野菜を1日350g食べている人の割合の増加	21.0%	35%	50%	1日あたりの野菜平均摂取量350g以上	
よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある人の割合の増加	64.6%	70%	80%	80%以上	80%以上
健康的な食事内容を心がけている人の割合の増加	83.5%	90%	90%以上	90%以上	60%以上
食育に関心をもっている人の割合の増加(再掲)	68.6%	80%	90%	90%以上	90%以上

## 具体的な取組み

### 【生活習慣病予防・改善のための食育の推進】

疾病別の生活習慣病予防教室のほか、食生活の改善や生活習慣の改善ができるような教室や相談を開催します。

事業名	事業内容	担当課
健康教室 (疾病別)	生活習慣病の予防・改善のための知識と実践的技術の習得ができるように調理実習を行う教室の開催や、講話と運動を交えた教室を開催します。	健康課
健康教室 (ライフステージ別)	ライフステージに応じた教室を実施し、年齢ごとの課題について、知識や技術を提供します。	健康課 高齢福祉課
運動教室	生活習慣病予防において大切な運動実践を通して運動の知識や技術の提供とともに、適正な食生活に向けた見直しをします。	健康課
生活習慣病予防 料理教室	地域で活躍している食生活改善推進団体に委託して、地区公民館で生活習慣病予防料理教室を開催します。	健康課
健康相談	生活習慣病の予防・改善のため、生活環境に即した食事についてや介護予防につながる食事についての個別相談を実施します。	健康課 高齢福祉課
歯科健康教室	生活習慣病と歯科疾患との関係についての知識や、予防方法についての教室を開催します。	健康課

【食に関する普及・啓発】

市民がより良い食生活を営むためのポイントを理解し、健康増進に取り組むきっかけとなるよう、食に関する情報を提供します。

事業名	事業内容	担当課
食育ガイドや食事バランスガイドなどの活用	健康づくりのための食生活の実現に向けた教育の際、食育ガイドや食事バランスガイドなど、栄養バランスなどに配慮した食生活を送るための指針を活用します。	健康課
消費生活展	消費者団体の協力のもと、市民が食・環境・日常生活における幅広い消費生活に関心を持って行動してもらえるような情報提供を中心に開催します。	市民情報・相談課
健康づくり情報の発信事業	食を通じた健康増進に関する知識をFM放送（FMナパサ）やほっとメールひらつか（ひらつか子育て応援メール）等で発信します。	健康課
野菜プロジェクト	6月の食育月間に幼児健診を受診される保護者を対象として、「野菜を1日350g以上食べる」ためのPRや体験事業を実施します。	

【地域における食育に関する情報提供の充実】

地域の学習課題としての重要性や住民ニーズを考慮しながら、食に関する事業を展開します。

事業名	事業内容	担当課
公民館事業での食育の推進	公民館事業において、料理教室などを通じた食育の機会を提供します。	中央公民館
地域依頼教育	公民館や自治会、地区社会福祉協議会などと協働し、地域に出向いて食に関する健康講話や健康相談を行います。	高齢福祉課 健康課

## 基本施策（４）食育推進運動の展開

### 【現状と課題、計画指標】

食育推進運動を展開していくには、市民一人一人が食育の意義や必要性などを理解するとともに、これに共感し、自ら食育を実践できるよう、市民や協力団体などの自発的意思を尊重するとともに、多様な主体の参加者と連携・協力して推進していくことを目指しています。

本市では、市民が自ら活動を実践することを目指すため、積極的に参加、協力して食育活動を推進している「平塚市食生活改善推進団体」の活動支援を行っています。また、平塚市食生活改善推進団体に活動する食生活改善推進員の養成を行い、会員の維持に努めています。

しかし、ボランティア活動であるため、会員数を増やしていくことは容易なことではなく（P 29表3-4）、前計画の計画指標を見ても、会員数を維持することは難しい状況です。

このような中でも、平塚市食生活改善推進団体の会員数は、国や県の人口比と比較するとかなり多い状況です。

今後も、平塚市食生活改善推進団体の会員数の確保や、新しい情報の提供などの支援と共に、活動の充実が図れるよう取り組みます。

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
食育ボランティアの活動の充実	活動回数 586回	活動回数 600回	活動回数 600回以上	食育ボランティア の数 6,500人以上	食育ボランティア の数の増加 37万人以上
食育に関心をもっている人の割合の増加(再掲)	68.6%	80%	90%	90%以上	90%以上

## 具体的な取組み

### 【マンパワーの育成や活動支援への取組み】

食生活改善推進員は「食育アドバイザー」として、子どもから高齢者まで健全な食生活を実践できるよう、地域に根ざした食育活動をすすめます。

事業名	事業内容	担当課
食生活改善推進員の養成	地域での食生活改善活動に必要な知識と実践のための技術を習得するための講座を開催します。	健康課
食育に関するボランティアの育成と活動への支援	食生活改善推進員が各地域の特色を活かした食生活改善活動を実施できるよう、活動支援や技術提供などを行います。	

### 【食育推進に関する情報提供の推進】

事業名	事業内容	担当課
食育活動の情報の共有化	地域で食育活動を実施している団体（食育推進会議委員）の活動状況を把握し、行政と市民の協働による食育の推進を図ります。	健康課 （食育推進会議）

## 基本施策（５）生産者と消費者の交流の促進及び環境との調和のとれた農水産業の活性化

### 【現状と課題、計画指標】

食育の推進、特に食に対する感謝の念を深めていく上で、食を生み出す場としての農水産業に関する理解が重要です。消費者と生産者が互いを意識する機会が少ないことから、生産者と消費者の顔が見える関係の構築によって、これを改善していくことが求められています。

また、食料の生産は自然の恩恵の上に成り立っており、自然との共生が求められています。このため、生産者と消費者との交流の促進を図るとともに、環境と調和のとれた農水産業の活性化が図られるよう、適切な取組みが必要です。

本市は県内有数の農業地域であり、広大な水田面積と豊富な水を使い、「キヌヒカリ」という品種の米が生産されています。また、施設園芸も盛んで、トマトやキュウリ、いちごなどが栽培されています。畑作としては、ほうれんそうや小松菜などの野菜、里いも、飼料作物が多く生産されており、それら平塚の地場産品の認知度は高い状況です（P 19 図 2-22）。

これらの多くは、直売所や地場産品PRイベントなどで直接手に入るような取組みを行っています。本市の直売所の利用率は、月に1回以上利用する人が約65%と多くの人を利用している状況が伺えます。また、直売所を利用していない場合でも、スーパーなどの「地場産品コーナー」などを利用するなど、地場産品に対する意識の高さが伺えます（P 20 図 2-23）。

また、「平塚産農産物をPRして多くの方に食べてもらいたい」という想いから平塚市と東海大学の交流事業で、平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」が、平成23年5月に学生達のデザインにより誕生しました。新鮮で美味しい平塚産農産物の魅力を伝えるために、フラッグやポスター、看板、チラシ等POPのデザインとして市主催イベントや市内直売所、スーパーの野菜売り場などで使用しています。平成25年度からはベジ太のうた、体操、絵本、着ぐるみを活用して、更なる平塚産農産物のPRを行っています。

多くの市民が食料の生産から消費に至るまでの食に関する体験活動に参加できる取組みを推進し、また、地場産品のPRを行い、地産地消の推進をしていきます。

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
地元産の農産物の優先的な購入・使用の増加	53.1%	55%	80%	80%以上	
農林漁業体験をしたことがある人の割合の増加	52.5%	55%	75%	75%以上	30%以上
食育に関心をもっている人の割合の増加(再掲)	68.6%	80%	90%	90%以上	90%以上

## 具体的な取組み

### 【地産地消の推進】

地産地消とは、「その土地で採れたものをその土地で消費する」という意味です。平成22年12月に「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」が公布され、平成23年3月に「農林漁業者等による農林漁業及び関連事業の総合化並びに地域の農林水産物の利用の促進に関する基本方針」を定め、地産地消の一層の推進を図ることが期待されています。

事業名	事業内容	担当課
市内直売所	平塚市公式ホームページで市内の野菜、果樹、花きを販売する直売所を紹介します。	農水産課
地場産品 PRイベント	「美味花市（うまかいち）」や「JA湘南でてこいまつり」、「地どれ魚直売会」などのイベントを通じ、地場産農水産物のPRを行います。	
ふれあい給食事業 (再掲)	地元で生産された（採れた）農水産物等を学校給食の食材として活用するとともに、その生産者を招いて一緒に給食を食べることで、地域の自然や文化、農水産業などに関する理解を深めます。	学校給食課 農水産課
湘南ひらつかふれ あいマーケット	生産者と市民によるふれあいの場の創出や地場産業の振興を図るため、地場産品の販売拠点として毎月1回開催します。	産業振興課

### 【農水産業に関する理解を深める】

自然の恩恵や食に関わる様々な活動への理解を深める事などを目的とし、一連の農作業等の体験の機会を提供し、多様な体験の取組みを推進します。

それら、自然と向き合い、日々仕事をしている農林漁業者に直接指導を受けることにより、地域の農林漁業への関心や理解を深め、自然の恩恵、農林漁業者への尊敬の念、健全な食生活の実現など様々な教育的効果が期待されます。

事業名	事業内容	担当課
ひらつか花アグリ 米づくり体験隊	消費者自らが米づくりに参加することで、農業の理解を深め、本市の米の魅力を再発見します。地元の専業農家組織が講師になり、家族で田植え、草とり、収穫体験（稲刈り体験、乾燥・もみすり機の作業見学）後、自分たちで作ったお米を受け取る一連の体験事業を行います。	農水産課

事業名	事業内容	担当課
サポートファーマー育成事業	農家以外の市民を対象に農業研修を行い、農家の農作業の手伝いや遊休農地の耕作をするなどの援農活動をするサポートファーマーを育成します。 修了後は、JA湘南のサポートバンクに登録して農家の手伝いをしています。	農水産課
親子ふれあい体験（農業）	ひらつか花アグリ内で、農産物の栽培管理や収穫を体験する親子野菜づくり教室、採れたて野菜調理教室を開催します。	
ヒラメの稚魚放流、親子交流海体験	児童・生徒を対象に、遊漁船に乗船し、沖に張られた定置網や潮目の様子を観察します。また、ヒラメの稚魚放流体験や親子で体験できる子ども環境教室（海編）などを行います。	農水産課 環境政策課

#### 【農業体験をする機会の充実】

実際の農作物の収穫を体験することにより、農業と農作物への理解と感謝の気持ちを育みます。

事業名	事業内容	担当課
親子収穫体験	生産者の立会いのもと、春はトマト、秋はきゅうりのもぎ取り体験を行います（平塚市園芸協会主催）。	農水産課

#### 【市民農園の利用区画数の増加】

自然志向を背景に、農業体験に対する都市住民の関心が高まり、余暇活動としてだけでなく、子どもの教育面からも、自然や土とのふれあいを求め、市民農園を利用する人々が増えています。

本市では、平成7年度から市民農園の開設を支援し、平成26年4月現在、市内に22園開設しています。

事業名	事業内容	担当課
市民農園	農業委員会等関係団体と連携しつつ、毎年1園程度開設します。	農水産課

**【水産業を体験する機会の充実】**

地元の漁業者が働く身近な海の自然環境について学び、水産業に対する親しみと理解を深めます。

事業名	事業内容	担当課
体験乗船	小学生を対象に、遊漁船に乗って相模湾を遊覧します。	農水産課

**【魚食の普及活動】**

地場産農産物と同様、平塚港に水揚げされた水産物についても、購入の機会を増やし、水産業とふれあい、消費の拡大を図ります。

事業名	事業内容	担当課
魚食普及活動	湘南ひらつか魚まつり朝市、魚のさばき方教室などを通して、魚食の普及を図ります（湘南ひらつか魚食普及協議会主催）。	農水産課

## 基本施策（6）食文化の継承、展開のための活動の支援

### 【現状と課題、計画指標】

豊かな自然に恵まれ、さらに海に囲まれた我が国は、四季折々の食材に恵まれ、長い年月を経て地域の伝統的な行事食や作法と結びついた食文化が形成されてきました。このような我が国の豊かで多様な食文化「和食」は、世界に誇ることができます。

その「和食」は、平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に登録され、日本はもとより、世界中から評価されています。

「和食」の特徴の一つに、年中行事との密接な関わりがあります。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。

本市でも、食文化の継承のため、公民館や学校給食で「行事食」の継承事業を実施してきました。また、食育の必要性を唱えた「村井弦齋」が明治時代から昭和にかけて住んだゆかりの地であり、その跡地は「村井弦齋公園」として現在もその思想を受け継いだ活動を展開しています。

一方、ライフスタイルや価値観等様々な理由により、栄養バランスに優れた健康的な食生活の基本である日本型食生活や、家庭や地域において継承されてきた特色ある食文化が失われつつあります。

地域のボランティア団体や、各種団体と協力しながら、食文化の継承、展開のための活動を推進します。

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
食育を唱えた村井弦齋の認知率の増加	31.7%	35%	40%		
食育に関心をもっている人の割合の増加(再掲)	68.6%	80%	90%	90%以上	90%以上

## 具体的な取組み

### 【村井弦齋による食育の思想の継承】

平塚にゆかりのある明治時代の小説家、村井弦齋の著書「食道楽」は、食にまつわる様々なテーマを取り上げ、600以上のレシピが登場し、「徳育よりも、智育よりも、食育が先」と、提唱しています。今後もその村井弦齋の思想を継承していきます。

事業名	事業内容	担当課
村井弦齋まつり	「ふるさと歴史再発見事業」の一環として、村井弦齋公園において年に1回、市民との協働により開催します。明治時代の料理を現代風にアレンジした料理の展示、販売などにより、当時の食文化を偲ぶことができます。	社会教育課

### 【食文化を継承する活動に対する支援】

全国に先駆けて昭和33年に地域での食育活動を開始した食生活改善推進団体の活動を支援します。最新の食情報と地域活動のための助言、協力などを行います。

事業名	事業内容	担当課
食育ボランティアの活動に対する支援	地域で食文化を継承する教室を始め、様々な活動を展開している食育ボランティアに対し、支援を行います。	健康課

### 【食文化の継承事業の充実】

食生活が多様化する中で、地域の郷土料理や伝統食などの食文化を大切にし、次の世代への継承を図ります。

事業名	事業内容	担当課
学校給食における食文化の伝承	学校給食での行事食を通じて、食文化や食習慣を伝える取組みを行います。	学校給食課
公民館における食文化継承事業の実施	地域の協力を得て、家庭で作られる機会が少なくなった季節の料理（おせち料理など）や、伝統行事（だんご焼きなど）の食文化を継承する講座を実施します。	中央公民館

## 基本施策（7）食の安全性、栄養・その他食に関する調査、情報提供

### 【現状と課題】

健全な食生活の実践には、食生活や健康に関する正しい知識を持ち、自ら食を選択していく必要があります。

食品の安全性に関する情報については、消費者庁や食品安全委員会を始めとした関係省庁で随時共有し、情報提供が行われています。また、神奈川県では「かながわ食の安全・安心」のホームページなどで情報の提供を行っています。

東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、放射性物質の放出に伴う食品の安全性に関する関心は、依然高い状態にあります。

本市では、講座や教室を通じて、食に関する安全安心を広めていくとともに、学校給食の食材の安全確認の検査を実施し、食の安全に対する情報発信に取り組みます。

指 標	現状値	目標値 (平成31年度)	目標値 (平成36年度)	神奈川県 目標値 (平成29年度)	国 目標値 (平成27年度)
食育に関心をもっている人の割合の増加(再掲)	68.6%	80%	90%	90%以上	90%以上

## 具体的な取組み

### 【食の安全・安心などに関する講座の開催】

消費者である市民に対して、消費生活に関する情報や知識を提供することで、消費者の自立を図ります。

事業名	事業内容	担当課
親子消費者教室	市民が自立した消費者を目指すための支援として、専門家を講師に招き小学生及びその保護者を対象にした実習形式の講座を開催します。講座では、食の安全性等をテーマにした幅広い消費生活に関する知識や情報をわかりやすく提供します。	市民情報・相談課
暮らしの講座	市民が自立した消費者を目指すための支援として、専門家を講師に招いた講座を開催します。講座では、食の安全性等をテーマにした幅広い消費生活に関する知識や情報を提供します。	

### 【広報媒体を活用した情報提供の推進】

食品の安全に関する情報を、広報媒体を用いて提供していきます。

事業名	事業内容	担当課
食品の放射性物質簡易検査	市民が消費する食品の放射性物質簡易検査を行い、ホームページ等での結果公表や関連する知識・情報を提供することを通して、市民の「食への不安」解消につながる支援をします（NPO法人ひらつかエネルギーカフェと協働事業）。	市民情報・相談課

※協働事業期間：平成24年12月～平成27年度末まで

### 【学校給食での取組みの推進】

学校給食法に基づいた、安心安全の確保に努めます。

事業名	事業内容	担当課
学校給食での食の安全	残留農薬検査、O-157細菌検査、一般細菌検査、放射性物質検査を実施します。	学校給食課



## 第5章

### ライフステージごとのテーマと取組み

## 第5章 ライフステージごとのテーマと取組み

ライフステージごとの特徴にあわせた食育のテーマと、実践上のポイントをまとめ、市民の行動を支援するための本市の取組みを示します。

ステージ	テーマ	ポイント	本市の主な取組み
乳幼児期 (0～6歳)	家庭を基盤とした望ましい食習慣の基礎をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食前食後のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」を言う習慣を身につける</li> <li>・好き嫌いなく食事をする</li> <li>・食べることを楽しむ</li> <li>・食べ物に関心を持つ</li> </ul>	母親父親教室 離乳食教室 幼児教育 子ども総合（育児）相談 子どもの生活習慣病予防対策事業 開放保育
学童・思春期 (7～19歳)	規則正しい生活の形成と栄養バランスのとれた食事を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食の大切さを理解する</li> <li>・栄養バランスを考えて食べる</li> <li>・農業体験や調理を通じて食への感謝の気持ちを育てる</li> <li>・家庭で食卓を囲む</li> </ul>	給食試食会 食に関する指導 学校給食地場産野菜等使用推進事業 ふれあい給食 児童健康教室 親子収穫体験
青年期 (20～39歳)	栄養バランスのとれた食生活の実践と朝食を食べる習慣を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活リズムに応じて1日3回、偏りのない食事をとる</li> <li>・食に関する情報を理解し、選択する</li> <li>・食事を自分で作る</li> <li>・食べ過ぎ飲み過ぎに気をつける</li> </ul>	親子ふれあい体験 健康教室 野菜プロジェクト 公民館事業での食育の推進 地域依頼教室・教育 親子消費者教室 ひらつか花アグリ米づくり体験隊
壮年期 (40～64歳)	健全な食生活を実践し、生活習慣病を予防する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活を見直し、適正体重の維持に努める</li> <li>・自ら食育を実践し、次世代に食の大切さを伝える</li> <li>・家庭での食事を大切にする</li> </ul>	地場産品 PR イベント サポートファーマー育成事業 市民農園 健康相談 歯科健康教室
高齢期 (65歳～)	自分の健康管理に努め、年齢にあった無理のない食生活をおくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友人との食事を楽しむようにする</li> <li>・今までの人生経験の中から得た食の知識や技術を次世代に伝える</li> </ul>	食生活改善推進員養成講座 公民館における食文化継承事業

## 第6章

### 推進体制の整備

## 第6章 推進体制の整備

食育推進計画の推進にあたっては、次の二つの組織において進捗状況の確認や評価、見直しを行い、計画に位置付けた施策の推進を図ります。

### (1) 平塚市食育推進会議

平塚市食育推進会議条例に基づき平塚市食育推進会議を設置します。

平塚市食育推進会議は平塚市食育推進計画の作成等について審議し、及びその実施を推進します。

委員は学識経験者、食に関する分野や保育・教育分野、保健分野の団体、公募に応じた市民により構成されています。

### (2) 平塚市食育推進計画進行会議

平塚市食育推進会議条例に基づき平塚市食育推進計画進行会議を設置します。

平塚市食育推進計画進行会議は本市の食育の取組みが総合的かつ計画的に推進されているか、進捗状況の報告や確認を行います。

構成員は庁内の関係部署で構成されています。

## 參考資料

## 平塚市食育推進会議条例

### (設置)

第1条 食育基本法（平成17年法律第63号。以下「法」という。）第33条第1項の規定に基づき、平塚市食育推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

### (所掌事務)

第2条 推進会議は、平塚市食育推進計画（法第18条第1項の規定により本市が作成する計画をいう。）の作成等について審議し、及びその実施を推進する。

### (組織)

第3条 推進会議は、委員18人以内をもって組織する。

### (委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 食に関する分野の団体の代表者
- (3) 保育・教育分野の団体の代表者
- (4) 保健分野の団体の代表者
- (5) 公募に応じた市民

### (任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第6条 推進会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第7条 推進会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 推進会議は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 推進会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第8条 推進会議は、特定の事項及び専門的事項について調査審議させるため、部会を置くことができる。

(意見等の聴取)

第9条 会長は、推進会議の運営上必要があると認めるときは、推進会議に委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## 平塚市食育推進会議委員名簿

団体名	役職等	氏名
鎌倉女子大学	家政学部 管理栄養学科 教授	森政 淳子
湘南農業協同組合	組織部長	小宮 一郎
平塚魚商業協同組合	婦人部長	柳田 愛子
村井弦斎の会	会長	加藤 利雄
神奈川県栄養士会 第6ブロック支部	管理栄養士	山田 恵子
平塚市食生活改善推進団体	会長	岩田 まり子
平塚市私立幼稚園協会	園長（黒部丘幼稚園）	三浦 深雪
平塚民間保育園連盟	園長（愛・八幡保育園） （平成25年度まで 苗・もんもん保育園園長）	永瀬 輝美  （高橋 一枝）
平塚市立小学校長会	校長（旭小学校）	宇野 雄子
平塚市立中学校長会	校長（山城中学校）	大高 幸二
神奈川県立平塚農業高等学校	副校長	添野 龍雄
平塚市医師会	理事（公衆衛生担当）	佐藤 陽一郎
平塚歯科医師会	常務理事	松本 隆行
神奈川県平塚保健福祉事務所	主査	上月 康子
市民委員		関口 利恵子
市民委員		猪俣 克美

平成27年3月現在

平塚市食育推進計画進行会議（庁内関連各課）

部 名	課 名	部 名	課 名
企画政策部	企画政策課 計画推進担当	健康・こども部	保育課 保育担当
	産業振興課 産業活性化担当		健康課 健康づくり担当
産業振興部	農水産課 農業政策担当	学校教育部	教育総務課 学務担当
	農水産課 みなと水産担当		学校給食課 給食担当
	商業観光課 商業担当		教育指導課 教育指導担当
	市民部		市民情報・相談課 消費生活担当
福祉部	高齢福祉課 介護予防担当	社会教育部	中央公民館 公民館担当

平成27年3月現在

第2次平塚市食育推進計画策定の経過

会 議 等		議 題 等
平成25年度	10月31日	第2回平塚市食育推進計画進行会議
	2月21日	第3回平塚市食育推進計画進行会議
	3月25日	第2回平塚市食育推進会議
平成26年度	5月2日～5月30日	平塚市食育推進のための実態調査
	7月25日	第1回平塚市食育推進計画進行会議
	8月11日	第1回平塚市食育推進会議
	9月30日	第2回平塚市食育推進計画進行会議
	10月20日	第2回平塚市食育推進会議
	11月7日	第1回関係課長会議
	11月20日	庁議
	12月19日～1月19日	意見募集（パブリックコメント）の実施
	1月29日	第3回平塚市食育推進計画進行会議
	2月10日	第3回平塚市食育推進会議
	2月10日	第2回関係課長会議
	3月24日	庁議

平成26年度平塚市食育推進のための実態調査

目的：本市の食育を推進していくための基礎資料として活用するとともに、平塚市食育推進計画の達成状況を確認するため。

調査対象：平成26年4月30日現在で住民基本台帳に登録された0歳から74歳までの男女3,000人

抽出方法：住民基本台帳から無作為に抽出

調査方法：郵送によるアンケート方式(無記名回答方式)

調査期間：平成26年5月2日から平成26年5月30日

回収結果：有効回答数(率) 1,237(41.2%)

性別・年齢別回収結果

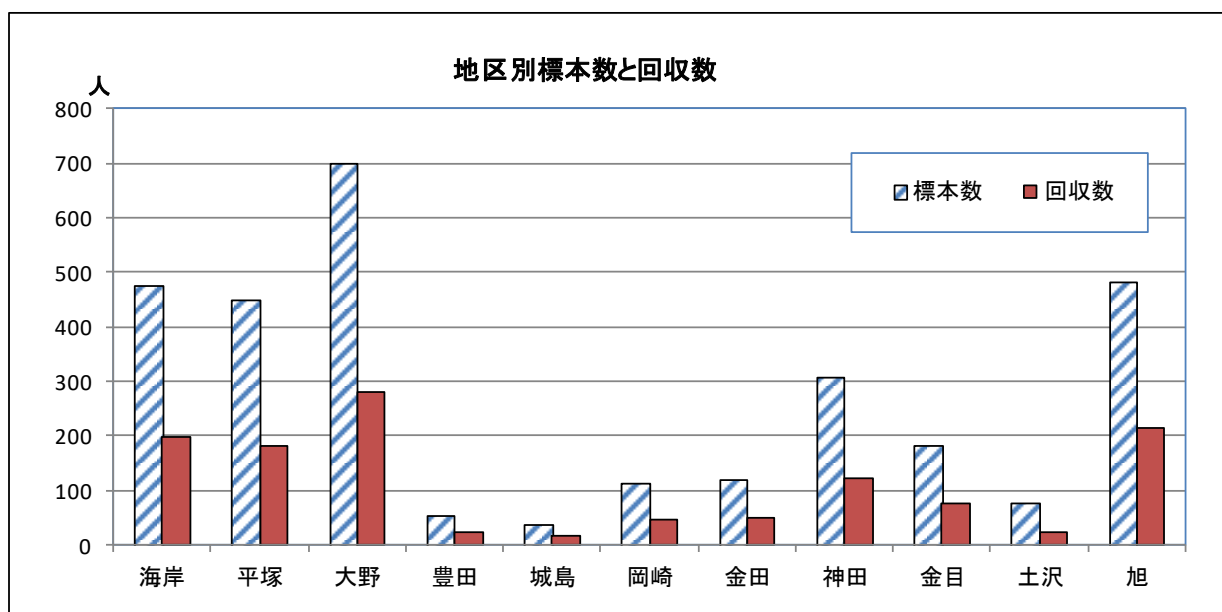
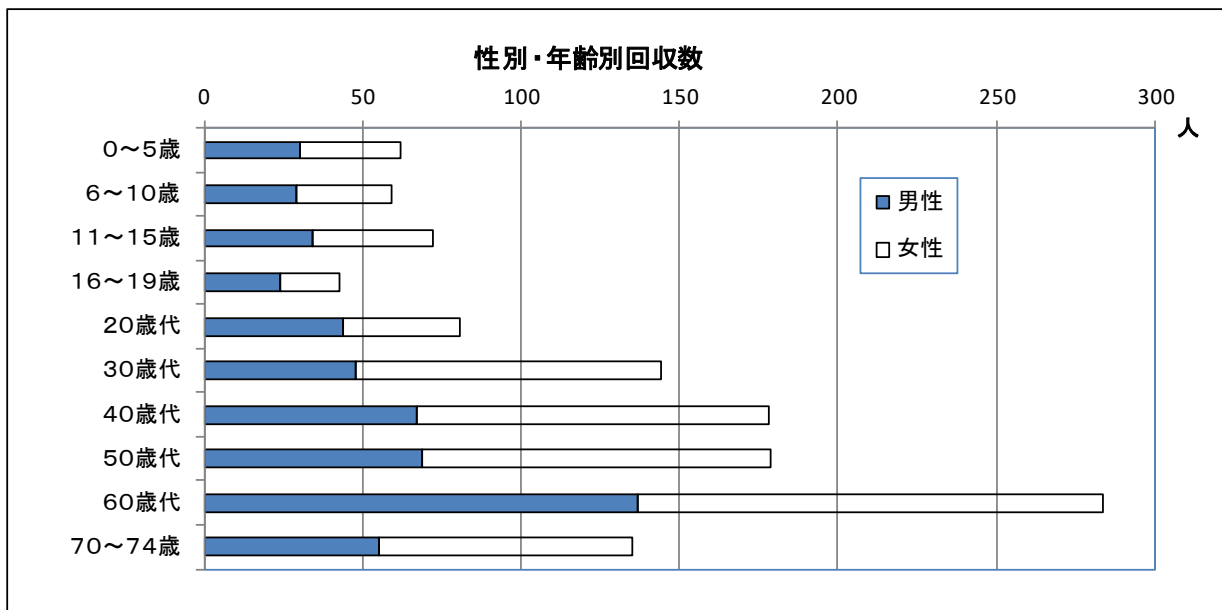
性別	年齢	標本数	回収数	回収率	性別	年齢	標本数	回収数	回収率
男性	0～5歳	60	30	50.0%	女性	0～5歳	68	32	47.1%
	6～10歳	85	29	34.1%		6～10歳	73	30	41.1%
	11～15歳	84	34	40.5%		11～15歳	73	38	52.1%
	16～19歳	73	24	32.9%		16～19歳	63	19	30.2%
	20歳代	194	44	22.7%		20歳代	146	37	25.3%
	30歳代	218	48	22.0%		30歳代	221	96	43.4%
	40歳代	280	67	23.9%		40歳代	236	111	47.0%
	50歳代	199	69	34.7%		50歳代	203	110	54.2%
	60歳代	264	137	51.9%		60歳代	243	147	60.5%
70～74歳	98	55	56.1%	70～74歳	119	80	67.2%		
合計		1,555	537	34.5%	合計		1,445	700	48.4%

地区別回収結果

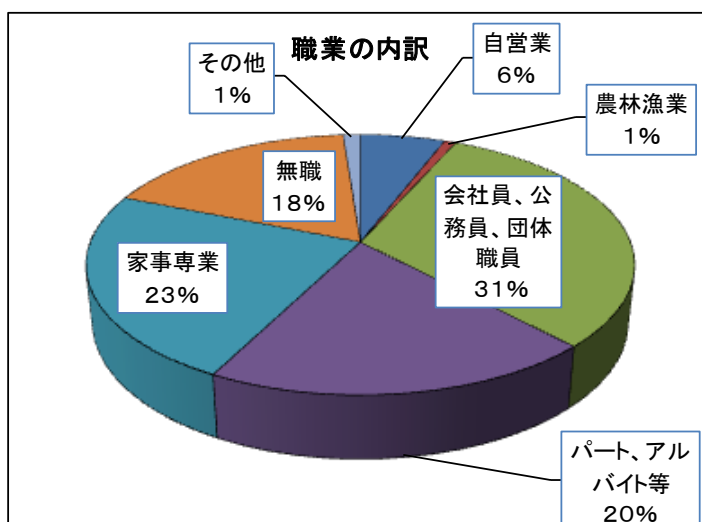
地区	標本数	回収数	回収率
海岸	474	198	41.8%
平塚	449	182	40.5%
大野	700	282	40.3%
豊田	55	24	43.6%
城島	38	17	44.7%
岡崎	114	46	40.4%
金田	121	49	40.5%
神田	306	124	40.5%
金目	182	76	41.8%
土沢	78	25	32.1%
旭	483	214	44.3%
合計	3,000	1,237	41.2%

全年齢回収結果

年齢	標本数	回収数	回収率
0～5歳	128	62	48.4%
6～10歳	158	59	37.3%
11～15歳	157	72	45.9%
16～19歳	136	43	31.6%
20歳代	340	81	23.8%
30歳代	439	144	32.8%
40歳代	516	178	34.5%
50歳代	402	179	44.5%
60歳代	507	284	56.0%
70～74歳	217	135	62.2%
合計	3,000	1,237	41.2%



職業の内訳	(人)
自営業	59
農林漁業	8
会社員、公務員、団体職員	311
パート、アルバイト等	197
家事専業	234
無職	177
その他	12



問4 あなたの家族構成は次のどちらですか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
一人暮らし	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	11.1%	9.0%	6.7%	5.0%	9.5%	11.9%	7.1%
夫婦だけ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	15.3%	10.7%	20.7%	42.3%	45.2%	21.3%
親と子(2世代)	87.1%	76.3%	83.3%	76.7%	64.2%	66.7%	69.1%	59.8%	38.0%	34.8%	58.6%
祖父母と親と子(3世代)	12.9%	22.0%	16.7%	18.6%	17.3%	9.0%	12.9%	11.7%	8.8%	5.9%	11.7%
その他	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.6%	2.8%	1.4%	2.2%	1.2%

問5 あなたの健康状態は次のうちどちらですか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
大変よい	62.9%	71.2%	54.2%	32.6%	18.5%	13.9%	15.7%	7.8%	5.4%	7.5%	19.2%
よい	32.3%	22.0%	25.0%	27.9%	38.3%	38.9%	34.8%	30.7%	30.7%	31.3%	32.1%
普通	4.8%	6.8%	16.7%	34.9%	39.5%	38.2%	39.3%	50.8%	46.4%	38.8%	37.7%
あまりよくない	0.0%	0.0%	4.2%	4.7%	3.7%	8.3%	7.3%	10.1%	13.9%	17.2%	9.2%
よくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.8%	0.6%	3.6%	5.2%	1.9%

問6 あなたは日頃、次のうちで主に感じることはありますか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
特になし	93.3%	78.9%	59.7%	30.2%	32.1%	40.6%	40.2%	48.9%	64.1%	66.7%	54.5%
眠い	0.0%	1.8%	19.4%	37.2%	37.0%	28.0%	25.3%	19.7%	7.6%	6.1%	17.2%
朝起きられない	5.0%	10.5%	11.1%	14.0%	7.4%	2.8%	4.0%	2.8%	1.1%	1.5%	4.1%
だるい	0.0%	0.0%	2.8%	7.0%	3.7%	7.0%	9.8%	9.0%	5.1%	3.8%	5.8%
やる気がしない	0.0%	0.0%	2.8%	2.3%	9.9%	5.6%	4.0%	5.1%	5.4%	4.5%	4.6%
イライラする	0.0%	3.5%	1.4%	4.7%	3.7%	7.7%	5.7%	4.5%	4.0%	4.5%	4.4%
ボンヤリする	0.0%	1.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.6%	1.1%	0.0%	2.3%	0.7%
体調を崩しやすい	1.7%	3.5%	1.4%	4.7%	3.7%	6.3%	5.7%	4.5%	8.7%	8.3%	5.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.4%	4.6%	4.5%	4.0%	2.3%	2.8%

問7 食事で気をつけていることはありますか。※複数回答あり。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
栄養バランス	82.3%	61.0%	41.7%	30.2%	45.7%	61.8%	63.5%	69.3%	68.3%	74.1%	63.6%
食事の時間(リズム)	61.3%	47.5%	22.2%	18.6%	22.2%	39.6%	35.4%	39.1%	39.8%	43.0%	37.9%
食べる量	48.4%	22.0%	31.9%	41.9%	33.3%	44.4%	56.2%	59.2%	63.7%	63.0%	52.3%
マナー	53.2%	40.7%	25.0%	18.6%	19.8%	33.3%	25.8%	8.9%	7.0%	5.2%	19.1%
食品の安全性	45.2%	16.9%	26.4%	7.0%	24.7%	34.0%	39.3%	45.3%	46.1%	50.4%	38.7%
特になし	6.5%	22.0%	27.8%	32.6%	19.8%	14.6%	11.8%	8.9%	8.8%	5.9%	12.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	4.9%	6.3%	3.9%	2.2%	4.6%	4.4%	3.6%

問8 あなたが朝食を食べる頻度はどのくらいですか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
ほとんど毎日	96.8%	96.6%	90.3%	73.8%	67.9%	79.7%	83.1%	80.4%	90.1%	97.8%	86.0%
週に4～5回	3.2%	1.7%	2.8%	4.8%	12.3%	6.3%	7.3%	5.6%	1.8%	0.7%	4.5%
週に2～3回	0.0%	1.7%	2.8%	7.1%	8.6%	7.0%	2.2%	6.1%	2.8%	0.7%	3.8%
週に1回	0.0%	0.0%	1.4%	7.1%	2.5%	1.4%	1.1%	1.7%	1.1%	0.0%	1.3%
月に2～3回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.1%	1.7%	1.7%	0.7%	0.0%	1.1%
食べない	0.0%	0.0%	2.8%	7.1%	6.2%	3.5%	4.5%	4.5%	3.5%	0.7%	3.4%

問9 朝食を食べると答えた方へ。どのようなものをよく食べていますか。※複数回答あり。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
主食	100.0%	100.0%	97.1%	94.9%	90.8%	93.5%	95.3%	88.9%	93.1%	93.3%	93.7%
主菜	53.2%	59.3%	55.7%	53.8%	39.5%	50.0%	53.5%	52.0%	64.2%	73.9%	57.2%
副菜	38.7%	50.8%	48.6%	51.3%	32.9%	42.0%	45.3%	53.2%	65.7%	76.1%	53.7%
乳製品	79.0%	59.3%	67.1%	46.2%	40.8%	44.9%	59.4%	54.4%	60.9%	63.4%	57.7%
果物	51.6%	35.6%	31.4%	20.5%	14.5%	26.1%	28.8%	33.3%	44.2%	59.7%	36.6%
健康補助食品	0.0%	1.7%	2.9%	7.7%	6.6%	10.9%	8.8%	17.0%	14.2%	11.9%	10.5%
菓子類	22.6%	15.3%	21.4%	20.5%	15.8%	15.9%	12.9%	11.7%	15.7%	21.6%	16.3%
その他	0.0%	1.7%	1.4%	0.0%	2.6%	1.4%	1.8%	5.3%	4.7%	0.7%	2.7%

問10 朝食を食べないと答えた方へ。食べない理由はなんですか。(人)

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
食べないと回答	0	0	2	3	5	5	8	8	10	1	42
食べる習慣がない	0	0	0	0	2	2	3	6	6	0	19
時間がない	0	0	2	1	0	2	2	0	1	0	8
食欲がない	0	0	0	2	3	1	2	1	1	0	10
食事の用意ができていない	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ダイエットのため	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
体調が悪い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3

問11 あなたは朝食を家族と食べることはどのくらいありますか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
ほとんど毎日	88.7%	86.4%	59.2%	22.0%	19.8%	38.5%	37.9%	32.4%	53.5%	68.1%	48.5%
週に4～5日	3.2%	6.8%	5.6%	9.8%	11.1%	7.7%	7.3%	6.1%	6.3%	1.5%	6.3%
週に2～3日	4.8%	5.1%	5.6%	12.2%	14.8%	15.4%	15.3%	14.0%	6.7%	4.4%	10.2%
週に1日程度	0.0%	0.0%	2.8%	4.9%	12.3%	8.4%	10.7%	12.3%	5.6%	5.2%	7.3%
ほとんどない	3.2%	1.7%	26.8%	46.3%	29.6%	21.0%	23.2%	30.2%	18.3%	9.6%	20.7%
一人暮らし	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	12.3%	9.1%	5.6%	5.0%	9.5%	11.1%	7.0%

問12 あなたは夕食を家族と食べることはどのくらいありますか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
ほとんど毎日	95.2%	98.3%	81.9%	53.5%	43.2%	56.3%	51.1%	50.8%	69.7%	77.8%	64.7%
週に4～5日	0.0%	1.7%	11.1%	11.6%	12.3%	9.0%	12.9%	13.4%	8.5%	3.7%	9.1%
週に2～3日	3.2%	0.0%	6.9%	18.6%	14.8%	19.4%	20.2%	16.2%	3.9%	2.2%	10.8%
週に1日程度	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	9.9%	3.5%	3.9%	6.7%	2.5%	2.2%	3.6%
ほとんどない	1.6%	0.0%	0.0%	4.7%	7.4%	2.8%	6.2%	8.9%	6.7%	3.0%	5.1%
ひとり暮らし	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	12.3%	9.0%	5.6%	3.9%	8.8%	11.1%	6.6%

問13 あなたは噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
関心がある	11.3%	23.7%	15.5%	11.9%	13.8%	26.6%	18.8%	22.9%	27.4%	33.6%	22.9%
どちらかといえば関心がある	16.1%	16.9%	28.2%	28.6%	38.8%	35.0%	36.9%	36.0%	41.6%	43.8%	35.7%
どちらかといえば関心がない	11.3%	16.9%	21.1%	21.4%	18.8%	21.0%	24.4%	30.3%	20.3%	17.2%	21.4%
関心がない	11.3%	18.6%	12.7%	26.2%	27.5%	12.6%	15.3%	7.4%	7.8%	3.9%	11.9%
わからない	50.0%	23.7%	22.5%	11.9%	1.3%	4.9%	4.5%	3.4%	2.8%	1.6%	8.1%

問14 あなたは普段の食生活において、よく噛んで、味わって食べていますか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
食べている	24.2%	30.5%	26.8%	25.6%	15.0%	12.0%	17.1%	16.0%	22.4%	32.8%	21.0%
どちらかといえば食べている	37.1%	47.5%	42.3%	32.6%	37.5%	43.7%	44.0%	43.4%	48.0%	48.1%	44.1%
どちらかといえば食べていない	22.6%	18.6%	14.1%	27.9%	26.3%	28.2%	31.4%	33.7%	25.6%	13.7%	25.6%
食べていない	0.0%	0.0%	2.8%	4.7%	16.3%	11.3%	5.1%	4.6%	2.1%	3.1%	4.9%
わからない	16.1%	3.4%	14.1%	9.3%	5.0%	4.9%	2.3%	2.3%	1.8%	2.3%	4.3%

問15 食品全般を買う際、どんなことを確認しますか。 ※16歳以上対象で複数回答あり。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
賞味期限・消費期限	65.1%	71.6%	70.1%	71.9%	79.9%	73.6%	77.0%	73.9%
産地	18.6%	21.0%	38.9%	37.6%	43.6%	39.4%	45.9%	38.3%
鮮度	7.0%	33.3%	38.9%	49.4%	56.4%	64.8%	58.5%	51.5%
食品添加物	9.3%	3.7%	13.2%	14.0%	11.7%	14.1%	14.8%	12.6%
値段	76.7%	77.8%	64.6%	59.0%	55.3%	45.8%	39.3%	55.2%
内容量	23.3%	18.5%	14.6%	9.6%	2.8%	3.9%	3.7%	8.0%
安全性	11.6%	12.3%	13.9%	14.6%	12.3%	16.5%	26.7%	15.9%
おいしさ	27.9%	30.9%	14.6%	12.9%	13.4%	13.7%	10.4%	15.1%
話題性	7.0%	1.2%	1.4%	1.1%	0.0%	0.7%	0.7%	1.1%
ブランド	2.3%	2.5%	1.4%	1.1%	3.9%	0.4%	0.7%	1.5%
簡便性	0.0%	7.4%	2.1%	1.7%	1.1%	2.1%	1.5%	2.1%
栄養表示	16.3%	2.5%	2.8%	3.4%	2.8%	1.4%	3.0%	3.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.6%	1.4%	0.0%	0.7%

問16 野菜や魚、肉を購入する際、産地を確認しますか。 ※16歳以上対象。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
確認する	66.7%	60.5%	83.7%	84.1%	87.4%	83.6%	93.8%	83.1%
確認しない	33.3%	39.5%	16.3%	15.9%	12.6%	16.4%	6.2%	16.9%

問17 問16で「確認する」と答えた方へ。地元産のものを優先したいと思いますか。

※16歳以上対象。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
優先したいと思う	32.1%	30.6%	48.3%	54.1%	55.0%	56.6%	56.8%	52.4%
優先したいと思わない	10.7%	18.4%	9.3%	6.1%	7.3%	5.7%	3.4%	7.1%
どちらともいえない	57.1%	51.0%	42.4%	39.9%	37.7%	37.7%	39.8%	40.5%

問18 平塚でとれる地場産品(農水産物)で思い浮かぶものがありますか。※16歳以上対象で複数回答あり。

(人)

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
小松菜	2	7	24	32	25	42	19	151
ほうれん草	0	4	9	6	25	26	9	79
トマト	0	10	14	18	32	45	22	141
きゅうり	4	18	20	49	40	65	27	223
キャベツ	1	0	2	7	9	7	8	34
しらす	4	25	44	74	78	136	43	404
アジ、いわし	0	6	11	17	20	46	26	126
米	3	6	18	28	31	31	15	132
ヤーコン	1	2	2	10	5	7	0	27
もやし	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご	1	7	28	38	35	44	22	175
玉ねぎ	0	1	2	4	1	6	5	19
ごぼう	0	0	0	0	0	0	0	0
人参	0	1	1	2	1	0	1	6
さつまいも	1	1	5	15	12	23	7	64
さといも	0	1	1	2	4	9	5	22
落花生	0	1	1	7	2	3	2	16
長ネギ	1	4	11	9	13	19	9	66
バラ	1	3	4	10	12	12	4	46
枝豆	0	0	0	0	3	4	1	8
ナス	0	0	1	1	3	5	1	11
梨	1	1	1	3	3	0	1	10
牛乳	0	0	0	0	0	0	0	0
大根	0	3	5	3	5	10	7	33
たたまいわし	0	0	1	2	2	3	1	9
メロン	0	0	0	0	1	1	0	2
豚肉	0	2	1	2	4	9	1	19
みつ葉	0	0	0	0	0	0	0	0
サバ	0	0	0	1	0	2	1	4
キス	0	0	0	0	0	0	0	0
ぶどう	0	1	0	0	0	0	1	2
じゃが芋	1	1	0	1	1	1	1	6
レタス	0	0	1	0	1	3	0	5
万能ねぎ	0	0	0	0	0	0	0	0
モロヘイヤ	0	0	1	1	1	0	1	4
あゆ	0	0	0	0	0	0	0	0
ブロッコリー	0	1	0	3	0	0	0	4
たまご	0	0	0	0	0	0	0	0
ピーマン	0	0	0	0	0	0	0	0
みかん	0	0	2	0	0	2	1	5
そうめんこ	0	0	0	0	0	0	0	0
たちうお	0	0	0	0	0	1	0	1
いか	0	0	0	0	0	0	0	0
柿	0	0	0	0	0	1	1	2
すいか	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴーヤ	0	0	0	0	0	0	0	0
栗	0	0	0	0	0	0	0	0
白菜	0	0	0	1	2	2	4	9
さんま	0	0	0	0	0	1	0	1
鶏肉	0	0	0	0	0	0	0	0
かます	0	0	0	0	0	0	0	0
鯛	0	0	0	0	0	0	0	0
麦	0	0	0	0	0	0	0	0
あさり	0	0	0	0	0	1	0	1
はちみつ	0	0	0	0	0	0	0	0
いんげん	0	0	1	0	0	0	0	1
カーネーション	0	1	0	1	1	0	0	3
シクラメン	0	1	0	0	0	0	0	1
トウモロコシ	0	0	0	0	1	1	0	2
桃	0	0	0	0	0	1	0	1
野菜	0	1	4	3	7	21	13	49
かぶ	0	0	1	0	0	1	0	2
わかめ	0	0	0	0	0	0	1	1
果物	0	1	0	0	1	6	2	10
アスパラガス	0	1	0	0	0	0	0	1
かぼちゃ	0	0	0	1	0	0	0	1
しいたけ	0	0	0	0	1	0	0	1
たけのこ	0	0	0	0	0	0	1	1
ミニトマト	0	0	1	0	0	0	0	1
湘南ゴールド	0	0	0	0	1	2	0	3

問19 地場産品を使うことの利点は何だと思いますか。 ※16歳以上対象で複数回答あり。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
生産者がわかる	32.6%	46.9%	50.7%	37.6%	50.3%	44.4%	51.1%	45.7%
新鮮	79.1%	76.5%	79.2%	80.9%	91.1%	87.0%	86.7%	84.4%
安い	27.9%	17.3%	22.9%	21.3%	22.9%	23.6%	19.3%	22.1%
安全	46.5%	18.5%	31.3%	30.9%	36.9%	40.1%	50.4%	36.7%
栄養がある	4.7%	0.0%	2.8%	6.2%	5.6%	3.9%	5.2%	4.3%
自給率を上げる	18.6%	39.5%	23.6%	22.5%	29.6%	18.0%	15.6%	22.9%
特に利点はない	0.0%	4.9%	3.5%	5.1%	2.8%	5.6%	5.9%	4.5%
その他	0.0%	7.4%	4.2%	7.3%	1.1%	1.4%	3.7%	3.4%

問20 どれくらいの頻度で魚を食べていますか。 ※16歳以上対象。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
週に5回以上	2.3%	1.2%	3.5%	3.4%	5.1%	12.7%	12.5%	7.2%
週に3～4回	23.3%	27.2%	17.7%	34.3%	30.3%	38.2%	48.4%	33.1%
週に1～2回	51.2%	49.4%	59.6%	44.0%	46.3%	39.3%	34.4%	44.8%
月に2～3回	11.6%	18.5%	16.3%	12.0%	14.9%	6.9%	3.9%	11.2%
月に1回程度	4.7%	2.5%	2.8%	5.1%	0.6%	1.8%	0.8%	2.4%
食べない	4.7%	1.2%	0.0%	1.1%	2.9%	1.1%	0.0%	1.3%
その他	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%

問21 どのくらいの頻度で地元産の野菜、果物、花などの農産物を購入できる直売所を利用したことがありますか。 ※16歳以上対象。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
週に5回以上	2.4%	0.0%	1.4%	2.3%	1.7%	1.8%	5.5%	2.2%
週に3～4回	0.0%	1.3%	5.7%	4.0%	4.0%	13.4%	20.5%	8.5%
週に1～2回	9.5%	17.5%	8.5%	18.4%	23.6%	28.5%	30.7%	21.8%
月に2～3回	7.1%	7.5%	10.6%	20.1%	13.8%	17.3%	13.4%	14.6%
月に1回程度	9.5%	25.0%	28.4%	21.8%	26.4%	15.2%	14.2%	20.5%
利用したことがない	61.9%	43.8%	33.3%	25.3%	23.6%	18.8%	12.6%	25.7%
その他	9.5%	5.0%	12.1%	8.0%	6.9%	5.1%	3.1%	6.8%

問22 「食育」について関心がありますか。 ※16歳以上対象。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
関心がある	14.0%	18.5%	29.8%	20.5%	23.4%	30.5%	36.7%	26.6%
どちらかといえば関心がある	23.3%	39.5%	37.6%	49.4%	45.1%	39.4%	35.2%	40.7%
どちらかといえば関心がない	32.6%	18.5%	22.0%	20.5%	19.4%	19.4%	14.8%	19.8%
関心がない	11.6%	14.8%	4.3%	5.1%	4.6%	6.8%	3.1%	6.2%
わからない	18.6%	8.6%	6.4%	4.5%	7.4%	3.9%	10.2%	6.7%

問23 問22で「関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と答えた方へ。  
「食育」に関心がある理由は何ですか。 ※16歳以上対象で複数回答あり。

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
子ども達の心身の健全な発育	31.3%	53.2%	68.4%	70.7%	70.8%	52.3%	44.6%	59.6%
生活習慣病の予防や健康づくり	75.0%	70.2%	76.8%	68.3%	84.2%	88.7%	88.0%	81.0%
消費者と生産者の交流	0.0%	12.8%	4.2%	8.1%	11.7%	6.7%	17.4%	9.2%
食にまつわる地域の文化や伝統	25.0%	12.8%	8.4%	17.1%	18.3%	19.5%	14.1%	16.3%
食糧自給率	12.5%	10.6%	9.5%	17.1%	22.5%	17.4%	30.4%	18.3%
食べ残しや食品廃棄	25.0%	17.0%	18.9%	22.0%	19.2%	14.9%	14.1%	17.7%
その他	6.3%	2.1%	3.2%	2.4%	2.5%	2.1%	0.0%	2.2%

問24 「村井弦斎」という人を知っていますか。 ※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
知っている	27.9%	24.7%	15.6%	28.4%	42.6%	37.1%	31.8%	31.6%
名前だけは知っている	25.6%	30.9%	38.3%	40.9%	36.4%	40.7%	40.3%	38.2%
知らない	46.5%	44.4%	46.1%	30.7%	21.0%	22.1%	27.9%	30.2%

問25 毎日の食生活で、健康的な食事内容を心がけていますか。 ※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
はい	53.5%	66.7%	76.6%	80.7%	86.4%	87.0%	94.5%	82.3%
いいえ	46.5%	33.3%	23.4%	19.3%	13.6%	13.0%	5.5%	17.7%

問26 問25で「はい」と答えた方へ。具体的にどのような食事内容を心がけていますか。

※16歳以上対象で複数回答あり。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
食事バランスガイドを参考	4.3%	9.3%	8.3%	13.4%	19.7%	14.6%	19.0%	14.5%
1日2食以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べる	47.8%	38.9%	47.2%	52.1%	55.3%	55.4%	67.8%	54.3%
毎食、野菜を食べる	65.2%	51.9%	53.7%	62.7%	59.9%	65.4%	76.9%	63.2%
脂肪の多い食品や油を控える	34.8%	35.2%	40.7%	42.3%	55.9%	58.8%	71.1%	52.7%
食塩の摂取量を控える	21.7%	29.6%	32.4%	40.8%	51.3%	55.4%	72.7%	49.2%
適切な食事の量を意識	56.5%	53.7%	39.8%	46.5%	57.2%	51.7%	66.1%	52.6%
その他	0.0%	3.7%	7.4%	4.2%	0.7%	2.1%	4.1%	3.2%

問27① あなたの身長を教えてください。

※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
130cm以上140cm未満	0	0	0	0	0	0	1	1
140cm以上150cm未満	0	1	3	4	8	18	22	56
150cm以上160cm未満	18	19	53	71	64	110	50	385
160cm以上170cm未満	8	29	47	52	66	95	44	341
170cm以上180cm未満	15	24	28	41	33	50	10	201
180cm以上	0	5	3	3	1	5	1	18

問27② あなたの体重を教えてください。

※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
30kg以上40kg未満	0	1	3	0	2	4	3	13
40kg以上50kg未満	14	16	30	39	33	45	35	212
50kg以上60kg未満	16	20	55	55	63	97	38	344
60kg以上70kg未満	9	18	22	42	40	86	33	250
70kg以上80kg未満	2	12	14	21	20	36	16	121
80kg以上90kg未満	0	5	6	10	12	6	2	41
90kg以上100kg未満	0	1	1	2	1	1	0	6
100kg以上	0	2	0	0	0	0	0	2

問28 あなたは自分の体形をどう思いますか。

※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
やせている	11.6%	11.1%	4.2%	8.0%	6.3%	6.8%	9.2%	7.4%
やややせている	16.3%	6.2%	10.6%	4.5%	6.3%	10.8%	9.2%	8.6%
ふつう	48.8%	34.6%	36.6%	38.6%	35.4%	37.6%	40.5%	37.9%
やや太っている	14.0%	23.5%	35.2%	28.4%	38.9%	26.9%	28.2%	29.7%
太っている	9.3%	23.5%	12.7%	20.5%	13.1%	17.6%	12.2%	16.1%
わからない	0.0%	1.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.8%	0.4%

問29① 日頃、野菜やいも、海藻などのおかず(副菜)を朝食でどのくらい食べますか。※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
1皿分	52.4%	39.5%	40.0%	46.3%	55.2%	61.9%	65.9%	53.2%
2皿分	2.4%	6.2%	7.9%	10.9%	8.6%	13.7%	17.9%	10.9%
3皿分以上	2.4%	1.2%	0.7%	3.4%	1.1%	1.1%	3.3%	1.8%
たべない	42.9%	53.1%	51.4%	39.4%	35.1%	23.3%	13.0%	34.0%

問29② 日頃、野菜やいも、海藻などのおかず(副菜)を昼食でどのくらい食べますか。※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
1皿分	59.5%	60.5%	60.7%	58.3%	62.1%	53.3%	53.7%	57.6%
2皿分	4.8%	16.0%	12.1%	16.0%	13.8%	15.6%	19.5%	14.9%
3皿分以上	4.8%	2.5%	0.7%	2.3%	2.3%	3.0%	4.1%	2.6%
たべない	31.0%	21.0%	26.4%	23.4%	21.8%	28.1%	22.8%	24.9%

問29③ 日頃、野菜やいも、海藻などのおかず(副菜)を夕食でどのくらい食べますか。※16歳以上対象。

	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
1皿分	45.2%	54.3%	38.6%	49.1%	42.0%	39.3%	39.0%	42.8%
2皿分	45.2%	34.6%	45.0%	37.7%	42.5%	41.5%	37.4%	40.6%
3皿分以上	7.1%	7.4%	10.7%	12.0%	13.8%	13.3%	18.7%	12.7%
たべない	2.4%	3.7%	5.7%	1.1%	1.7%	5.9%	4.9%	3.9%

問30 平塚市で行っている食育事業で知っているものはありますか※複数回答あり。

	0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳	全体
湘南ひらつか魚まつり朝市	25.8%	13.6%	13.9%	14.0%	27.2%	31.3%	40.4%	52.5%	61.3%	62.2%	42.9%
親子野菜づくり体験教室	3.2%	10.2%	9.7%	2.3%	3.7%	3.5%	6.7%	5.6%	5.3%	8.9%	5.9%
親子料理教室	19.4%	11.9%	13.9%	11.6%	7.4%	9.7%	15.2%	14.5%	8.8%	6.7%	11.4%
離乳食教室	58.1%	18.6%	1.4%	7.0%	16.0%	38.9%	22.5%	14.5%	9.9%	8.1%	18.2%
育児講座	25.8%	5.1%	1.4%	4.7%	12.3%	14.6%	9.6%	8.9%	5.3%	9.6%	9.2%
料理教室	4.8%	5.1%	9.7%	4.7%	7.4%	9.7%	10.7%	13.4%	17.3%	28.9%	13.4%
健康教室	14.5%	8.5%	4.2%	2.3%	3.7%	3.5%	6.7%	15.6%	19.0%	25.2%	12.4%
消費生活展	0.0%	0.0%	1.4%	4.7%	2.5%	2.1%	1.7%	5.6%	4.9%	3.7%	3.2%
食品の放射性物質簡易検査	1.6%	1.7%	1.4%	2.3%	3.7%	2.1%	7.9%	3.9%	4.9%	6.7%	4.4%
村井弦斎まつり	11.3%	13.6%	18.1%	25.6%	21.0%	18.1%	35.4%	50.8%	44.7%	36.3%	33.3%
湘南ひらつかふれあいマーケット	24.2%	16.9%	16.7%	16.3%	25.9%	35.4%	42.7%	52.5%	43.3%	48.1%	38.3%
でてこいまつり	16.1%	15.3%	25.0%	23.3%	17.3%	25.0%	32.0%	41.3%	38.4%	37.0%	31.3%
中学生お弁当コンクール	6.5%	8.5%	40.3%	18.6%	9.9%	5.6%	21.9%	19.0%	6.3%	5.2%	12.9%
学校給食での地場産品の活用と食文化の継承	11.3%	22.0%	40.3%	18.6%	9.9%	8.3%	21.3%	9.5%	4.2%	3.7%	12.0%
その他	1.6%	1.7%	1.4%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.4%

問31 平塚市で行っている食育事業で参加したところがあるものはありますか※複数回答あり。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
湘南ひらつか魚まつり朝市	9.7%	3.4%	4.2%	2.3%	7.4%	4.9%	9.0%	15.6%	19.4%	23.7%	12.6%
親子野菜づくり体験教室	0.0%	1.7%	2.8%	2.3%	0.0%	2.1%	1.7%	0.0%	0.7%	0.0%	1.0%
親子料理教室	1.6%	5.1%	5.6%	0.0%	3.7%	2.8%	5.1%	2.8%	0.7%	0.0%	2.5%
離乳食教室	32.3%	16.9%	0.0%	0.0%	6.2%	17.4%	8.4%	1.7%	1.1%	0.0%	6.5%
育児講座	8.1%	3.4%	1.4%	0.0%	2.5%	5.6%	5.1%	3.4%	0.7%	0.0%	2.8%
料理教室	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.2%	2.1%	1.1%	2.8%	5.6%	5.2%	2.8%
健康教室	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	3.9%	2.5%	6.7%	2.1%
消費生活展	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.6%	2.2%	1.4%	0.7%	0.9%
食品の放射性物質簡易検査	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
村井弦斎まつり	1.6%	8.5%	6.9%	9.3%	2.5%	2.8%	10.1%	9.5%	10.6%	2.2%	7.2%
湘南ひらつかふれあいマーケット	4.8%	8.5%	5.6%	7.0%	4.9%	12.5%	12.4%	19.6%	19.0%	21.5%	14.3%
でてこいまつり	11.3%	13.6%	19.4%	14.0%	13.6%	15.3%	16.3%	22.3%	21.8%	21.5%	18.4%
中学生お弁当コンクール	0.0%	0.0%	1.4%	4.7%	1.2%	0.0%	0.6%	1.7%	0.4%	0.0%	0.7%
その他	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.6%	0.6%	1.1%	0.0%	0.6%

問32 平塚市で行っている食育事業で参加したい、または興味がある事業はありますか※複数回答あり。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
湘南ひらつか魚まつり朝市	19.4%	23.7%	12.5%	20.9%	28.4%	43.1%	38.2%	39.7%	34.9%	36.3%	33.6%
親子野菜づくり体験教室	25.8%	37.3%	8.3%	2.3%	12.3%	13.2%	14.6%	2.2%	4.2%	1.5%	9.5%
親子料理教室	27.4%	52.5%	20.8%	2.3%	7.4%	22.2%	12.4%	1.1%	1.1%	0.7%	10.5%
離乳食教室	1.6%	0.0%	1.4%	2.3%	6.2%	8.3%	1.7%	0.0%	0.4%	0.0%	1.9%
育児講座	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	9.0%	2.2%	0.0%	0.4%	0.0%	2.7%
料理教室	11.3%	11.9%	22.2%	11.6%	21.0%	22.9%	14.0%	8.4%	13.0%	14.1%	14.6%
健康教室	4.8%	3.4%	2.8%	4.7%	9.9%	11.8%	6.7%	13.4%	14.8%	22.2%	11.5%
消費生活展	3.2%	0.0%	4.2%	0.0%	3.7%	1.4%	2.8%	4.5%	6.3%	5.2%	3.9%
食品の放射性物質簡易検査	6.5%	1.7%	8.3%	7.0%	7.4%	7.6%	12.4%	7.8%	9.2%	9.6%	8.6%
村井弦斎まつり	3.2%	11.9%	6.9%	11.6%	19.8%	9.0%	12.4%	13.4%	8.8%	8.1%	10.5%
湘南ひらつかふれあいマーケット	16.1%	16.9%	9.7%	11.6%	22.2%	25.7%	25.8%	26.8%	16.2%	22.2%	20.8%
でてこいまつり	9.7%	10.2%	18.1%	11.6%	9.9%	9.0%	8.4%	10.1%	13.7%	17.0%	11.8%
中学生お弁当コンクール	4.8%	11.9%	19.4%	2.3%	0.0%	2.8%	3.9%	2.2%	1.4%	0.7%	3.6%
その他	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.6%	1.1%	0.7%	0.6%

問33 農林水産業の作業などを体験したことがありますか。

	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳	全体
ある	41.9%	56.9%	60.6%	63.4%	58.2%	55.2%	59.0%	56.8%	44.9%	47.2%	53.0%
なし	58.1%	43.1%	39.4%	36.6%	41.8%	44.8%	41.0%	43.2%	55.1%	52.8%	47.0%



問7 食事で気をつけていることはありますか。(あてはまるもの全てに○をつけてください)

- |             |              |        |
|-------------|--------------|--------|
| 1 栄養バランス    | 2 食事の時間(リズム) | 3 食べる量 |
| 4 マナー       | 5 食品の安全性     | 6 特になし |
| 7 その他(具体的に: |              | )      |

問8 あなたが朝食を食べる頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- |          |          |               |
|----------|----------|---------------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週に4~5回 | 3 週に2~3回      |
| 4 週に1回   | 5 月に2~3回 | 6 食べない→(問10へ) |

問9 問8で1~5と答えた方へ。どのようなものをよく食べていますか。

(あてはまるもの全てに○をつけてください)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1 主食(ごはん、パン等)       | 2 主菜(肉・魚類、卵、大豆製品、チーズ等) |
| 3 副菜(野菜料理、味噌汁、スープ等) | 4 乳製品(牛乳、ヨーグルト等)       |
| 5 果物                | 6 健康補助食品(サプリメントを含む)    |
| 7 菓子類(菓子パンを含む)      | 8 その他(具体的に:            |

問10 問8で「6 食べない」と答えた方へ。食べない理由は何ですか。(○は1つ)

- |               |            |         |
|---------------|------------|---------|
| 1 食べる習慣がない    | 2 時間がない    | 3 食欲がない |
| 4 食事の用意ができてない | 5 ダイエットのため | 6 体調が悪い |
| 7 その他(具体的に:   |            | )       |

問11 あなたは朝食を家族と食べることはどのくらいありますか。(○は1つ)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週に4~5日 | 3 週に2~3日 |
| 4 週に1日程度 | 5 ほとんどない | 6 ひとり暮らし |

問12 あなたは夕食を家族と食べることはどのくらいありますか。(○は1つ)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週に4~5日 | 3 週に2~3日 |
| 4 週に1日程度 | 5 ほとんどない | 6 ひとり暮らし |



問19 地場産品を使うことの利点は何だと思えますか。(〇は3つまで)

- |           |             |           |
|-----------|-------------|-----------|
| 1 生産者がわかる | 2 新鮮        | 3 安い      |
| 4 安全      | 5 栄養がある     | 6 自給率を上げる |
| 7 特に利点はない | 8 その他(具体的に: | )         |

問20 どれくらいの頻度で魚を食べていますか。(〇は1つ)

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1 週に5回以上    | 2 週に3~4回 | 3 週に1~2回 |
| 4 月に2~3回    | 5 月に1回程度 | 6 食べない   |
| 7 その他(具体的に: |          | )        |

問21 どれくらいの頻度で地元産の野菜、果物、花などの農産物を購入できる直売所を利用したことがありますか。(〇は1つ)

- |             |          |             |
|-------------|----------|-------------|
| 1 週に5回以上    | 2 週に3~4回 | 3 週に1~2回    |
| 4 月に2~3回    | 5 月に1回程度 | 6 利用したことがない |
| 7 その他(具体的に: |          | )           |

問22 「食育」について関心がありますか。(〇は1つ)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 関心がある         | } (問24へ) |
| 2 どちらかといえば関心がある |          |
| 3 どちらかといえば関心がない |          |
| 4 関心がない         |          |
| 5 わからない         |          |

食育基本法の中では、「食育」を  
 ①生きる上での基本であって、知育・徳育及び体育の基礎となるべきもの  
 ②様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることと位置付けています。

問23 問22で「1」又は「2」と答えた方へ。「食育」に関心がある理由は何ですか。

(〇は3つまで)

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1 子ども達の心身の健全な発育に関心があるから  |   |
| 2 生活習慣病の予防や健康づくりに関心があるから |   |
| 3 消費者と生産者の交流に関心があるから     |   |
| 4 食にまつわる地域の文化や伝統に関心があるから |   |
| 5 食料自給率に関心があるから          |   |
| 6 食べ残しや食品廃棄に関心があるから      |   |
| 7 その他(                   | ) |

問24 「村井弦斎(明治時代から昭和時代にかけて平塚に住み、食育の重要性を説いた小説家)」という人を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている                      2 名前だけは知っている                      3 知らない



問25 毎日の食生活で、健康的な食事内容を心がけていますか。(〇は1つ)

- 1 はい                      2 いいえ → (問27へ)

問26 問25で「1 はい」と答えた方へ。具体的にどのような食事内容を心がけていますか。(あてはまるもの全てに〇をつけてください)

- 1 食事バランスガイドを参考に食べるようにしている
- 2 1日2食以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている(週5日以上)
- 3 毎食、野菜を食べるようにしている
- 4 脂肪の多い食品や油を控えるようにしている
- 5 食塩の摂取量を控えるようにしている
- 6 自分にとって適切な食事の量を意識して食べるようにしている
- 7 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

問27 あなたの身長、体重を教えてください。

身長 [      .      ] cm                      体重 [      .      ] kg

問28 あなたは自分の体型をどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 やせている                      2 やややせている                      3 ふつう  
4 やや太っている                      5 太っている                      6 わからない

問29 日頃、野菜やいも、海藻などのおかず(副菜)をどのくらい食べますか。

下の料理例を参考に、朝食、昼食、夕食それぞれお答えください。

- 1 1皿分                      2 2皿分  
3 3皿分以上                      4 食べない



朝食(      )                      昼食(      )                      夕食(      )

料理例	<p>『1皿分』 野菜サラダ、ポテトサラダ、酢のもの、お浸し、ごまあえ、具だくさんみそ汁、野菜スープ、煮豆、コーンスープ、きのこソテー、ひじきの煮物、きんぴらごぼう、切り干し大根煮物 など</p> <p>『2皿分』 野菜の煮物、野菜炒め、芋の煮ころがし、コロツケ など</p>
-----	--

とい ひらつかし おこな しょくいじぎょう し  
 問30 平塚市で行っている食育事業で知っているものはありますか。(あてはまるもの  
 すべてに○をつけてください)

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 1 湘南ひらつか魚まつり朝市          | 2 親子野菜づくり体験教室 |
| 3 親子料理教室                | 4 離乳食教室       |
| 5 育児講座                  | 6 料理教室        |
| 7 健康教室                  | 8 消費生活展       |
| 9 食品の放射性物質簡易検査          | 10 村井弦斎まつり    |
| 11 湘南ひらつかふれあいマーケット      | 12 でてこいまつり    |
| 13 中学生お弁当コンクール          |               |
| 14 学校給食での地場産品の活用と食文化の継承 |               |
| 15 その他(具体的に:            | )             |

とい ひらつかし おこな しょくいじぎょう さんか  
 問31 平塚市で行っている食育事業で参加したことがあるものはありますか。(あて  
 はまるものすべてに○をつけてください)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 湘南ひらつか魚まつり朝市     | 2 親子野菜づくり体験教室 |
| 3 親子料理教室           | 4 離乳食教室       |
| 5 育児講座             | 6 料理教室        |
| 7 健康教室             | 8 消費生活展       |
| 9 食品の放射性物質簡易検査     | 10 村井弦斎まつり    |
| 11 湘南ひらつかふれあいマーケット | 12 でてこいまつり    |
| 13 中学生お弁当コンクール     |               |
| 14 その他(具体的に:       | )             |

とい ひらつかし おこな しょくいじぎょう さんか きょうみ じぎょう  
 問32 平塚市で行っている食育事業で参加したい、または興味がある事業はありま  
 すか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 湘南ひらつか魚まつり朝市     | 2 親子野菜づくり体験教室 |
| 3 親子料理教室           | 4 離乳食教室       |
| 5 育児講座             | 6 料理教室        |
| 7 健康教室             | 8 消費生活展       |
| 9 食品の放射性物質簡易検査     | 10 村井弦斎まつり    |
| 11 湘南ひらつかふれあいマーケット | 12 でてこいまつり    |
| 13 中学生お弁当コンクール     |               |
| 14 その他(具体的に:       | )             |

とい のうりんすいさんぎょう さぎょう たいけん  
問33 農林水産業の作業などを体験したことがありますか。みかん狩り、地引網、  
かていさいえん たいけん ふく  
家庭菜園などの体験も含まれます。(○は1つ)

1 ある

2 ない

とい しょくいく  
問34 「食育」について、御意見御要望があれば、お聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

ごきょうりょく  
御協力ありがとうございました。

ひらつかしけんこうか  
平塚市健康課

みんなではぐくもう！食育のまち ひらつかの未来

## 第2次平塚市食育推進計画

(平成27年3月発行)

発行：平塚市

編集：健康・こども部健康課

〒254-0082

平塚市東豊田488番地3

TEL 0463-55-2111

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/shokuiku/shokuikuplan.htm>

